

予算科目	03民生費	03生活保護費	02生活保護扶助費	01生活保護費支給事業											
細事業名	01 生活保護費支給事業			決算書	P.98										
総合計画	計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進													
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額											
678,799千円	678,981千円	182千円	99.9%	779,554千円											
目的	生活保護法に基づき、経済的に困窮している世帯に対して経済的援助を行うことにより、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その世帯の自立を支援する。														
主要な事務・事業の概要	生活保護受給世帯に対し、生活保護法による保護の基準に基づいて算定した扶助費を支給した。また、経済的給付にとどまらず、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立に向け、各関係機関と連携し支援を行った。 平成29年度は平成28年度と比較すると、受給世帯は17世帯・26人減となり、生活扶助費・医療扶助費等を中心に、支給額は30,706千円の減少となった。														
	【生活保護世帯の状況】 (各年度とも3月末日の数値) (単位：世帯、人)														
		峰山町		大宮町		網野町		丹後町		弥栄町		久美浜町		合計	
		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
H25	103	152	66	98	109	167	35	48	29	44	48	70	390	579	
H26	106	156	65	101	116	176	37	52	32	53	42	63	398	601	
H27	110	151	67	99	118	171	35	51	28	46	37	58	395	576	
H28	113	160	63	90	110	152	34	49	26	41	38	57	384	549	
H29	102	142	56	81	113	158	31	45	25	39	40	58	367	523	
	【生活保護費の支給状況】 (単位：千円)														
	生活扶助費	住宅扶助費	教育扶助費	介護扶助費	医療扶助費	生業扶助費	施設事務費	葬祭扶助費等	合計						
H25	210,540	85,783	6,185	18,684	429,369	3,290	3,292	218	757,361						
H26	217,596	83,299	6,906	17,619	456,516	3,873	3,009	1,258	790,076						
H27	211,411	87,625	7,920	18,957	413,144	4,430	1,894	1,406	746,787						
H28	203,859	88,612	6,594	15,734	386,458	3,961	1,937	2,350	709,505						
H29	183,927	85,608	5,868	14,933	379,252	4,513	4,032	666	678,799						
主な財源	国負	生活保護費負担金(3/4)				506,802千円									
	府負	生活保護費負担金(府費負担となる扶助費支給額の1/4)				1,381千円									
	諸収入	生活保護費徴収金				1,768千円									
	諸収入	生活保護費返還金				3,166千円									
成果・課題	○生活保護費の支給を適正に行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することができた。														
	○生活保護受給者に対し、引き続き適正な保護を実施するとともに、自立を促進する必要がある。														
所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課														

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	02保健センター管理運営事業		
細事業名	01 保健センター管理運営事業			決算書	P.98	
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり				
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額		
869千円	873千円	4千円	99.5%	820千円		
目的	乳幼児健診、総合健診、健康指導及び健康教育等の保健活動の拠点となる保健センターを適切に管理し、市民の疾病予防、健康の保持増進を図る。					
主要な事務・事業の概要	保健センター(大宮・網野)の管理を適切に行った。					
	○大宮保健センター(利用者：43件、646人)		39千円			
	プロパンガスの燃料費		39千円			
	○網野保健センター(利用者：89件、3,303人)		830千円			
消耗品費		1千円				
燃料費(ガス)		39千円				
光熱水費(電気・水道)		593千円				
施設修繕料		71千円				
火災保険料		4千円				
手数料(ごみ処理・設備点検・電力申請)		35千円				
施設清掃等の委託料		87千円				
○丹後保健センター(利用者：4件、543人)		※維持管理経費は丹後庁舎管理事業から支出				
○弥栄保健センター(利用者：13件、254人)		※維持管理経費は弥栄庁舎管理事業から支出				
○久美浜保健センター(利用者：21件、349人)		※維持管理経費は久美浜庁舎管理事業から支出				
主な財源						
成果・課題	施設の適正な維持管理を行うことで、各種保健事業が円滑に実施され、健康増進の拠点として貢献することができた。					
所管課	健康長寿福祉部/健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	03自殺予防対策事業	
細事業名	01 自殺予防対策事業			決算書	P.100
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
1,114千円	1,239千円	125千円	89.9%	1,785千円	
目的	「京丹後市自殺のないまちづくり行動計画」に基づき、自殺ゼロをめざし、市民、行政、関係機関、団体等が一体となって自殺対策の取組を推進する。				
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○フリーアクセスによる無料電話相談 373千円 <ul style="list-style-type: none"> ・専用電話設置謝金(京都いのちの電話) 100千円 ・通話料金(京都いのちの電話、京都精保センター) 273千円 ※相談件数 316件 ○こころ・いのち・つなぐ手研修会 258千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報償費(謝金、費用弁償) 83千円 ・印刷製本費 139千円 ・消耗品費 36千円 ※研修会開催 33回(参加者 延べ933人) ○若年層支援事業 120千円 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 ※市内小中高校の卒業生1,804人にTeensこころの葉を配布 ○こころの健診(うつスクリーニング) 140千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報償費(講師謝金、費用弁償) 127千円 ・消耗品費 13千円 ※久美浜地域を対象に実施 受診者数623人(うち二次面接実施者は46人) ※講師は実施指導3回、事後会議1回 ○街頭啓発 104千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 40千円 ・印刷製本費 64千円 ※年間5回、8会場にて啓発グッズを配布(配布数1,850) ○各種研修会・会議等旅費 78千円 ○その他共通経費(消耗品費等) 41千円 				
主な財源	府補 自殺対策事業補助金(1/2・5/6)				559千円
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○「こころ・いのち・つなぐ手(ゲートキーパー)」研修を様々な団体、組織に対して実施し、自殺の危険性が高い人の早期発見・早期対応を図るため、地域で見守る支援者を養成することができた。 ○平成29年は若年層(40歳未満)の自殺者が増えたことから、より総合的な自殺対策を講じる必要がある。 				
所管課	健康長寿福祉部/健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	04健康増進計画策定事業	
細事業名	01 健康増進計画策定事業			決算書	P.100
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
373千円	373千円	0千円	100.0%	575千円	
目的	市民一人ひとりの健康寿命の延伸のため、“食育の推進”を含む「京丹後市健康増進計画」を策定する。				
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年6月に策定した「第2次京丹後市健康増進計画」の冊子及び概要版を印刷し、冊子を庁内関係部署、概要版を関係機関及び市民に配布した。 ○印刷製本費 373千円 <ul style="list-style-type: none"> 第2次京丹後市健康増進計画冊子 300冊 114千円 第2次京丹後市健康増進計画概要版 22,000部 259千円 				
主な財源					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○第2次健康増進計画の冊子及び概要版を作成し、関係機関、庁内関係部署及び市民に配布することで、健康寿命の延伸に向けた健康づくりや食育に関する取組を促進することができた。 ○今後は、市民、行政及び関係団体が、計画に位置づけた取組を実施していくことが必要である。 				
所管課	健康長寿福祉部/健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	50保健衛生総務一般経費
細事業名	01 保健衛生総務一般経費			決算書 P.100
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
7,537千円	9,180千円	1,643千円	82.1%	5,784千円
目的	各種保健事業を円滑に実施するために必要な臨時職員賃金、研修旅費、各種負担金などの経費を支出することにより、市民の健康増進を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>産休育休代替保健師の任用、各種研修・研究会等への参加及び旧丹後保健センターの維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨時保健師の任用経費 3,571千円 臨時保健師賃金・社会保険料 3,571千円 ○職員研修等経費 498千円 各種旅費（保健師研修会、糖尿病重症化予防対策人材育成研修会、がん検診精度管理説明会、予防接種研修会、発達障害事業専門職研修、行政栄養士研修会など） 498千円 ○旧丹後保健センター維持管理経費 16千円 光熱水費 4千円 火災保険料 4千円 消防設備等保守点検委託料 8千円 ○健康管理システム保守経費（負担金） 1,752千円 共同利用負担金（保守経費） 1,752千円 ○骨髓ドナー助成金 280千円 骨髓ドナー助成金（2件） 280千円 ○その他の経費 1,420千円 栄養士会・保健師協議会等負担金 90千円 消耗品費・燃料費・公用車修繕料 232千円 事務補助業務人材派遣委託料 986千円 自動車登録手数料 19千円 自動車損害保険料 45千円 有料道路通行料 10千円 自動車重疊税 38千円 			
主な財源	国補	保健師研修参加支援事業費補助金（1/2）	50千円	
	府補	骨髓ドナー助成事業補助金（1/2）	140千円	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○保健業務を円滑に実施することができた。 ○研修会等への参加により、専門職としての知識を得ることができた。 			
所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	01食育推進事業
細事業名	01 食育推進事業			決算書 P.100
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
620千円	710千円	90千円	87.3%	710千円
目的	市民の食育に対する理解を深めるため、食育推進計画を包含する「第2次健康増進計画」に基づき、啓発活動や関係機関・団体等との連携を行い、食育を推進する。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○食生活改善推進員研修会 36千円 総会時全体研修会（1回） 各支部研修会（6支部×1回開催） 「CKD（慢性腎臓病）予防」について 講話と調理実習（参加人数：79人） 消耗品費（35千円）、会場借上料（1千円） ○食生活改善推進員による地域での食育伝達講習会 228千円 36回開催、参加人数：延べ538人 謝金（216千円）、消耗品費（12千円） ○食育イベント（1回） 48千円 丹後王国食のみやこ月例祭における展示及び体験コーナー 参加人数：67人 「おにぎらず」レシピの表彰 消耗品費（8千円）、おにぎらず冊子印刷製本費（40千円） ○保育所・幼稚園児対象の食育指導及びあさごはんノートの作成、配布 46千円 ○食文化伝承推進事業（8校17回開催、参加児童・生徒数：428人） 228千円 食改員謝金（198千円）、ばら寿司レシピ印刷製本費（30千円） ○食育推進ネットワークの開催（2回） 34千円 （保健、農林水産、教育、行政等関係13団体で構成） 食育プログラムを作成、配布（保育所、幼稚園、小・中学校） 消耗品費（12千円）、印刷製本費（20千円）、通信運搬費（2千円） 			
主な財源	国補	国産農産物消費拡大対策事業費補助金（1/2以内）	287千円	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○地域における食育の普及活動や市民の食育・健康づくりを支援することができた。 ○京丹後市食育推進ネットワークにより、食育の取組の基礎となる「京丹後市食育プログラム」を作成した。今後食育プログラムを基に、家庭における食育を推進する必要がある。 			
所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	03健康づくり推進員活動事業													
細事業名	01 健康づくり推進員活動事業			決算書 P.100													
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり															
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額													
1,167千円	1,262千円	95千円	92.4%	1,262千円													
目的	健康づくり推進員の育成及び健康づくりに関する地区活動を支援し、地域における市民主体の健康づくりを推進する。																
主要な事務・事業の概要	健康づくり推進員を対象に研修を実施するとともに、健康関連の情報提供、講師派遣等を行い、推進員による地域活動を支援した。また、ウォーキングの普及に取り組み、地域における市民主体の健康づくりを推進した。																
	<ul style="list-style-type: none"> ○育成のための研修会等の開催 264千円 <ul style="list-style-type: none"> 研修会講師・健康運動士謝金等 30千円 需用費（研修会に係る消耗品） 102千円 役務費（案内、便り等の郵送代） 132千円 ・全体研修会（1回） 参加人数：70人 ・ブロック別研修会（4ブロック） 参加人数：64人 ・推進員便りの発行（年2回） ○地区活動の支援 800千円 <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員活動謝礼品（3,000円×226人） 678千円 需用費（活動に係る消耗品等） 122千円 ・地区健康教室の開催（保健師派遣分8回） 参加人数：86人 ・健康イベントへの協力、サザエさん体操の普及活動等 参加人数：28人 ○健康ウォーキングの推進 103千円 <ul style="list-style-type: none"> 需用費（チャレンジカード、ウォーキングマップの印刷） 103千円 ・ウォーキングイベントの開催（1回）参加者：86人 <p>※健康づくり推進員人数（平成30年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>峰山町</td> <td>大宮町</td> <td>網野町</td> <td>丹後町</td> <td>弥栄町</td> <td>久美浜町</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>43人</td> <td>32人</td> <td>50人</td> <td>20人</td> <td>15人</td> <td>66人</td> <td>226人</td> </tr> </table> <p>任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年間）</p>				峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	43人	32人	50人	20人	15人	66人
峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計											
43人	32人	50人	20人	15人	66人	226人											
主な財源	府補	健康増進事業費等補助金（2/3）	255千円														
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ウォーキングイベントの開催により、歩く健康づくりを啓発することができた。 ○健康づくり推進員が、地域で積極的にウォーキングや体操等の教室を開催することで、健康づくりを推進することができた。 ○健康づくり推進員が区や福祉委員と協力し、地域ぐるみで健康づくりに取り組まれている地域もあった。 ○健康づくり推進員活動に地域差がある中、今後を見据えてあり方を見直す必要がある。 																
所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	01不妊・不育症治療費助成事業																																																																				
細事業名	01 不妊・不育症治療費助成金			決算書 P.100																																																																				
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進																																																																						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																																				
966千円	966千円	0千円	100.0%	1,990千円																																																																				
目的	少子化対策の一環として、不妊・不育症治療を受けている夫婦に対して、治療費用の一部を助成することにより、安心して治療が受けられる環境を整える。																																																																							
主要な事務・事業の概要	<p>対象者：府内に1年以上居住し、かつ京丹後市内に住所を有する夫婦</p> <p>治療対象：① 一般不妊（医療保険適用の治療、人工授精）</p> <p style="padding-left: 20px;">② 不育症（ヘパリン注射、不育症の原因検査）</p> <p><不妊治療費助成金交付実績></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>37人</td> <td>34人</td> <td>49人</td> <td>17人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>43件</td> <td>37件</td> <td>63件</td> <td>24件</td> <td>34件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>1,262千円</td> <td>1,274千円</td> <td>1,700千円</td> <td>701千円</td> <td>966千円</td> </tr> </table> <p><人工授精に対する助成></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>18人</td> <td>20人</td> <td>28人</td> <td>11人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>20件</td> <td>22件</td> <td>34件</td> <td>14件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>487千円</td> <td>550千円</td> <td>731千円</td> <td>263千円</td> <td>345千円</td> </tr> </table> <p>※不妊治療費助成金交付実績の内数。</p> <p><不育症に対する助成></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>0千円</td> <td>9千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> </table> <p>※不妊治療費助成金交付実績の内数。</p>					H25	H26	H27	H28	H29	実人数	37人	34人	49人	17人	29人	件数	43件	37件	63件	24件	34件	助成金額	1,262千円	1,274千円	1,700千円	701千円	966千円		H25	H26	H27	H28	H29	実人数	18人	20人	28人	11人	14人	件数	20件	22件	34件	14件	14件	助成金額	487千円	550千円	731千円	263千円	345千円		H26	H27	H28	H29	実人数	0人	1人	0人	0人	件数	0件	1件	0件	0件	助成金額	0千円	9千円	0千円	0千円
		H25	H26	H27	H28	H29																																																																		
実人数	37人	34人	49人	17人	29人																																																																			
件数	43件	37件	63件	24件	34件																																																																			
助成金額	1,262千円	1,274千円	1,700千円	701千円	966千円																																																																			
	H25	H26	H27	H28	H29																																																																			
実人数	18人	20人	28人	11人	14人																																																																			
件数	20件	22件	34件	14件	14件																																																																			
助成金額	487千円	550千円	731千円	263千円	345千円																																																																			
	H26	H27	H28	H29																																																																				
実人数	0人	1人	0人	0人																																																																				
件数	0件	1件	0件	0件																																																																				
助成金額	0千円	9千円	0千円	0千円																																																																				
主な財源	府補	不妊治療等給付事業助成費補助金（1/2）	483千円																																																																					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○不妊・不育症治療を受ける夫婦に対し、治療にかかる費用負担を軽減することができた。 ○今後も積極的に制度の広報を行い、周知を図る必要がある。 																																																																							
所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																																																																							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業	
細事業名	01 母子健康支援事業			決算書	P.100
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
718千円	791千円	73千円	90.7%	791千円	
目的	むし歯予防事業、離乳食教室及び発達相談を実施することにより、保護者が自信を持って子育てができるように支援し、子どもの健やかな成長発達を促す。				
主要な事務・事業の概要	○むし歯予防事業 371千円 子どもの健康な歯と口腔を保つため、歯科医師による講演会、歯科衛生士等による歯科指導、フッ化物洗口事業を実施した。 ・むし歯予防教室（市内保育所・幼稚園：21回） ・歯科講演会（2回） ・フッ化物洗口事業（市内保育所・幼稚園：17施設、小学校：3施設） 歯科医師謝金（講演会・学習会） 56千円 歯科衛生士謝金（むし歯予防教室） 132千円 消耗品費、医薬材料費（洗口用薬剤） 183千円				
	○母子等健康支援事業 347千円 子育て中の不安を軽減し、子どもの健やかな成長・発達を促すため、正しい知識の普及をはじめ、参加者同士の交流や子育て相談の場を設けた。 ・臨床心理士による発達相談（6回：10人） ・離乳食教室（対象者：4～6か月児／12回：107人） ・離乳食キッチン（対象者：10～11か月児／5回：21人） 臨床心理士謝金 119千円 臨時保育士・歯科衛生士賃金 69千円 消耗品費 122千円 通信運搬費 26千円 印刷製本費 11千円				
主な財源	府補 7要素による子どものむし歯予防事業費補助金（1/2）				63千円
成果・課題	○発達相談や、離乳食教室等では、保護者の不安解消や、関わり方の具体的な助言をすることにより、子どもの健やかな成長発達を促すことができた。 ○年々子ども達のむし歯保有率は改善しているが、目標値に近づけるよう、今後もむし歯予防に関する知識の普及やフッ化物洗口事業に取り組む必要がある。				
所管課	健康長寿福祉部／健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業	
細事業名	02 妊婦健康支援事業			決算書	P.100
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
25,391千円	26,040千円	649千円	97.5%	30,422千円	
目的	妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査を実施することにより、疾病の早期発見、早期治療を促し、妊婦の健康づくりを支援する。				
主要な事務・事業の概要	○妊婦健康診査事業 25,230千円 安心・安全に出産を迎えるため、妊婦健康診査費用の助成を行った。 ※妊婦健康診査受診券交付者数：312人 ・妊婦健康診査委託料 24,315千円 ・妊婦健康診査助成金（里帰り受診） 688千円 ・印刷製本費（受診券綴り） 105千円 ・消耗品費（母子健康手帳購入ほか） 122千円				
	○妊婦歯科健康診査事業 161千円 妊婦の口腔衛生の向上を図るために、1回の妊娠につき1回の歯科健康診査受診費用の一部助成を行った。 ※妊婦歯科健康診査受診者数：66人 ・妊婦歯科健康診査委託料 155千円 ・妊婦歯科健康診査助成金（里帰り受診） 6千円				
主な財源	府補 未来づくり交付金（妊婦健康診査事業）				5,820千円
成果・課題	○妊婦健康診査及び妊婦歯科健康診査事業を実施することで、妊婦の健康づくり及び安心・安全な出産に寄与することができた。 ○妊婦歯科健診については、受診券の利用率が低いことから、引き続き、母子健康手帳交付時等、機会のあるごとに歯科健診の重要性について啓発していく必要がある。				
所管課	健康長寿福祉部／健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業			
細事業名	03 乳幼児健康診査事業			決算書	P.100		
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進					
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
10,454千円	10,623千円	169千円	98.4%	11,449千円			
目的	乳幼児期の疾病や障害の早期発見、治療、療育を促し、健やかな成長を支援するとともに、保護者に対する育児支援を行うことで育児不安の解消と虐待防止を図る。						
主要な事務・事業の概要	乳幼児の発達の節目である、4か月、10か月、1歳8か月、2歳6か月、3歳の時期に、健康診査、歯科健康診査及び保健指導を実施し、虐待予防を含めた乳幼児の健やかな成長・発達を促す支援を行った。						
	＜乳幼児健康診査実績＞						
		対象	対象者数	実施回数	受診者数	受診率	前年度受診率
		4か月児	346人	23回	342人	98.8%	98.6%
	10か月児	370人	25回	365人	98.6%	97.7%	
	1歳8か月児	391人	25回	377人	96.4%	98.1%	
	2歳6か月児	354人	26回	343人	96.9%	98.8%	
	3歳児	404人	30回	397人	98.3%	98.5%	
	※未受診の方について、医療機関管理中の方（入院中の方や医師の指導を受けている方）以外は次年度に受診できている。						
	○臨時保健師、歯科衛生士賃金				1,706千円		
	○消耗品費、医薬材料費				563千円		
	○案内郵送料				180千円		
	○印刷製本費				17千円		
	○小児科医師（103回）、歯科医師（81回）派遣委託料				7,988千円		
主な財源	府補	福祉による子どものむし歯予防事業費補助金（1/2）			744千円		
	府補	未来づくり交付金（乳幼児健康診査事業）			2,000千円		
成果・課題	○乳幼児の発達の節目で疾病や障害の早期発見を行い、早期支援につなぐことができた。 ○保護者の育児不安に対しては、保健師・栄養士等が寄り添い、保健・栄養指導を行うことにより不安の軽減に努めた。 ○医療機関管理中等により未受診の方についても、他機関との連携により、健康状態の確認、虐待予防、孤立化予防、育児支援に努めることができた。						
所管課	健康長寿福祉部／健康推進課						

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業	
細事業名	04 子育て世代包括支援センター事業			決算書	P.100
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
554千円	649千円	95千円	85.3%	789千円	
目的	子育て世代包括支援センターを設置し、ワンストップの相談窓口、専門的相談の充実などにより、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う。				
主要な事務・事業の概要	【子育て世代包括支援センターの概要】				
	・開設 平成28年4月				
	・体制 専任保健師1人を配置				
	・主な取組 ①妊娠期からのワンストップの相談窓口対応 ②助産師等による専門的な相談や教室の実施 ③子育てネットワークの構築				
・相談件数実績：延べ 508人					
・教室等の実績					
	内容		実施回数	参加人数（延べ）	
	マタニティクラス		11回	32人	
	両親学級		10回	108人（52組）	
	赤ちゃんサロン	1回目	12回	202人	
		2回目	12回	162人	
	相談	なかよし広場	12回	399人	
		子育て支援センター	16回	169人	
	パパ&ベビーサロン		2回	24人（12組）	
	子育て地域ネットワーク会議		2回	14人・10人	
	○運営事業費				554千円
	・臨時助産師賃金				134千円
	・助産師謝金				256千円
	・消耗品費				89千円
	・印刷製本費				52千円
	・旅費（産前産後ケア専門員研修会等）				23千円
主な財源	国補	母子保健衛生費補助金（1/2）			204千円
成果・課題	○妊娠届、母子健康手帳交付窓口をセンターに一本化し、保健師が面接して交付することにより、個々の課題やニーズの把握、妊娠期からの継続支援が可能となった。 ○妊娠期から子育て期を通して、助産師による専門相談を実施する機会が増え、相談支援が充実した。 ○子育てネットワークによる関係機関・団体等との連携を強化し、子育て環境の向上、子育て支援事業の充実を図る必要がある。				
所管課	健康長寿福祉部／健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	03発達障害児等早期発見・早期療育支援事業																										
細事業名	01 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業			決算書 P.100																										
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進																												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																										
510千円	524千円	14千円	97.3%	524千円																										
目的	発達障害等により集団生活に課題を抱える幼児の早期療育の観点から、子どもと保護者が安心して就学を迎えられるよう、関係機関が連携し、支援体制を構築する。																													
主要な事務・事業の概要	<p>市内の保育所及び幼稚園に通う4歳児クラス児童の保護者を対象に、支援事業の説明を行うとともに、幼児期後半の子どもの発達と対応について説明会を実施した。説明会では問診票を配布し、100%の回収率を得られた。</p> <p>問診票からのスクリーニングと行動観察の結果、要支援判定児については、事後支援として発達相談等の専門相談、保健師による個別面談、療育教室における対応、ほめ方教室、保育所・幼稚園での対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクリーニング：市内保育所及び幼稚園に通う4歳児 402人 ・園巡回による児童の行動観察及びカンファレンス：延べ 24回、延べ 89人 <p><判定結果></p> <table border="1"> <tr> <td>問題なし</td> <td>186人 (46%)</td> <td>発達相談等専門相談</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>園支援</td> <td>105人 (26%)</td> <td>保健師面接・電話相談</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>要支援</td> <td>82人 (21%)</td> <td>療育教室での対応</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>管理中</td> <td>29人 (7%)</td> <td>ほめ方教室での対応</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育所・幼稚園のみでの対応</td> <td>1人</td> </tr> </table> <p><要支援判定児(82人)の事後支援結果(重複有)></p> <table border="1"> <tr> <td>○発達障害児等早期発見・早期療育支援相談員報酬</td> <td>428千円</td> </tr> <tr> <td>○旅費(発達支援相談員費用弁償)</td> <td>56千円</td> </tr> <tr> <td>○需用費(問診票・パンフレット用色上質紙ほか)</td> <td>26千円</td> </tr> </table>				問題なし	186人 (46%)	発達相談等専門相談	55人	園支援	105人 (26%)	保健師面接・電話相談	46人	要支援	82人 (21%)	療育教室での対応	1人	管理中	29人 (7%)	ほめ方教室での対応	4人			保育所・幼稚園のみでの対応	1人	○発達障害児等早期発見・早期療育支援相談員報酬	428千円	○旅費(発達支援相談員費用弁償)	56千円	○需用費(問診票・パンフレット用色上質紙ほか)	26千円
問題なし	186人 (46%)	発達相談等専門相談	55人																											
園支援	105人 (26%)	保健師面接・電話相談	46人																											
要支援	82人 (21%)	療育教室での対応	1人																											
管理中	29人 (7%)	ほめ方教室での対応	4人																											
		保育所・幼稚園のみでの対応	1人																											
○発達障害児等早期発見・早期療育支援相談員報酬	428千円																													
○旅費(発達支援相談員費用弁償)	56千円																													
○需用費(問診票・パンフレット用色上質紙ほか)	26千円																													
主な財源	府補	発達障害児等早期発見・早期療育支援事業費補助金(1/2)	173千円																											
成果・課題	<p>○支援の必要な児童について、保護者、保育者、専門機関と連携し、早期支援・療育に結び付けることができた。</p> <p>○切れ目のない支援が就学後も継続していけるように、今後も関係者、関係機関が連携を図り、保育所・幼稚園におけるより良い支援の在り方、支援体制の構築に努めていく必要がある。</p>																													
所管課	健康長寿福祉部/健康推進課																													

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	04未熟児療育医療事業															
細事業名	01 未熟児療育医療事業			決算書 P.100															
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実																	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額															
2,817千円	2,861千円	44千円	98.4%	4,797千円															
目的	身体の発育が未熟なまま出生した乳児が指定医療機関で入院治療を受けた場合に、その医療費に対して一部負担金を助成し、治療に係る保護者負担を軽減する。																		
主要な事務・事業の概要	<p>○未熟児養育医療給付費 2,545千円</p> <p>対象者：出生時に体重が2,000g以下の乳児で、生活力が特に薄弱で一定の症状に該当する場合</p> <p>給付額：指定医療機関で入院治療に係る一部負担金(食事療養費を含む)</p> <p>給付方式：養育医療券(指定医療機関あり)交付による現物給付</p> <p><平成29年度></p> <table border="1"> <tr> <td>申請人数</td> <td>10人</td> <td>(現物給付額)</td> </tr> <tr> <td>診療を要した月</td> <td>28月</td> <td>医療費</td> <td>2,209千円</td> </tr> <tr> <td>診療を要した日数</td> <td>512日</td> <td>食事負担額</td> <td>336千円</td> </tr> <tr> <td>食事回数</td> <td>934回</td> <td>合計</td> <td>2,545千円</td> </tr> </table> <p>○審査支払手数料 1千円</p> <p>※審査支払手数料は請求の段階で府と折半した額が請求される。</p> <p>○医療費給付事務費(通信運搬費、事務消耗品等) 7千円</p> <p>○過年度国庫支出金返還金(平成28年度分) 264千円</p>				申請人数	10人	(現物給付額)	診療を要した月	28月	医療費	2,209千円	診療を要した日数	512日	食事負担額	336千円	食事回数	934回	合計	2,545千円
申請人数	10人	(現物給付額)																	
診療を要した月	28月	医療費	2,209千円																
診療を要した日数	512日	食事負担額	336千円																
食事回数	934回	合計	2,545千円																
主な財源	負担金	未熟児養育医療費負担金(保護者・子ども医療)	605千円																
	国負	未熟児養育医療費負担金(1/2)	1,359千円																
	府負	未熟児養育医療費負担金(1/4)	496千円																
成果・課題	未熟児の養育に必要な医療の給付を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減に寄与することができた。																		
所管課	市民環境部/保険事業課																		

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04健康増進費	01健康相談・指導事業
細事業名	01 健康相談・指導事業			決算書 P.100
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
1,982千円	2,306千円	324千円	85.9%	2,306千円
目的	生活習慣病をはじめとした疾病予防・介護予防などに関する知識の普及啓発及び健康相談・健康教育を行い、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>健康相談、保健及び栄養指導を実施し、市民の健康増進や疾病予防を推進した。 【健康相談】 個別に具体的な生活改善指導を実施した。 ・結果報告会（平成29年7月27日～11月2日：41日間） 延べ56会場で、3,325人に個別指導を実施した。 ・健康相談、栄養相談 延べ 98人 ・生活習慣病重症化予防対策事業による支援 延べ 115人 ・自動血圧計貸与による個別健康相談 78人</p> <p>【集団健康教育】 生活習慣病予防、心の健康、介護予防などの集団健康教育による普及啓発を実施した。 ・出前講座（74回） 延べ 1,334人 ・骨密度測定器を用いた健康教育 204人 ・健康づくり講演会 232人 実施日：平成29年11月18日（土） 演題：慢性腎臓病と上手につきあうために 講師：京都府立医科大学付属北部医療センター 腎臓内科医長 石田 良 医師</p> <p>○賃金（臨時保健師、栄養士） 660千円 ○報償費（講師） 61千円 ○需用費（消耗品費、印刷製本費） 572千円 ○役務費（通信運搬費） 683千円 ○使用料（会場借上料） 6千円</p>			
主な財源	府補	健康増進事業費等補助金（2/3）	523千円	
成果・課題	<p>○結果報告会にて、結果に基づいた個別指導を行い、生活習慣病予防について意識付けを行うことができた。 ○生活改善指導が必要な方のうち、結果報告会に来所されない方への支援方法の工夫が必要である。</p>			
所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04健康増進費	02総合検診事業																																																										
細事業名	01 総合検診事業			決算書 P.100																																																										
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり																																																												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																																																										
99,822千円	99,909千円	87千円	99.9%	107,383千円																																																										
目的	がんや疾病の早期発見を行うとともに、生活習慣の改善につなげることで、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。																																																													
主要な事務・事業の概要	<p>健康診査と各種がん検診などを同時に受けることができる総合検診を地域の集会所等で実施した。 【実施期間】 平成29年5月23日～9月8日 【実施日数】 48日間 【実施会場】 28会場（地区集会所、保健センターなど）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検診内容</th> <th>対象者</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> <th>前年度比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">健康診査</td> <td>20～39歳</td> <td>790人</td> <td></td> <td>△88人</td> </tr> <tr> <td>75歳以上</td> <td>1,692人</td> <td></td> <td>△38人</td> </tr> <tr> <td>生活保護ほか</td> <td>69人</td> <td></td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>40歳以上</td> <td>7,580人</td> <td>43.4%</td> <td>△486人</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>40歳以上</td> <td>3,781人</td> <td>21.6%</td> <td>△433人</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>40歳以上</td> <td>7,598人</td> <td>43.5%</td> <td>△412人</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス</td> <td>40歳以上</td> <td>490人</td> <td></td> <td>△145人</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>55歳以上</td> <td>2,225人</td> <td></td> <td>△89人</td> </tr> <tr> <td>腹部超音波</td> <td>60・65・70歳</td> <td>785人</td> <td></td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>子宮がん（集団）</td> <td>20歳以上</td> <td>2,635人</td> <td>44.8%</td> <td>△132人</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>40歳以上</td> <td>2,772人</td> <td>51.5%</td> <td>△222人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○検診業務委託料 97,583千円 ○臨時職員賃金 17千円 ○需用費（印刷製本、消耗品等） 432千円 ○役務費（通信運搬費等） 1,756千円 ○会場使用料 34千円</p>				検診内容	対象者	受診者数	受診率	前年度比較	健康診査	20～39歳	790人		△88人	75歳以上	1,692人		△38人	生活保護ほか	69人		2人	肺がん	40歳以上	7,580人	43.4%	△486人	胃がん	40歳以上	3,781人	21.6%	△433人	大腸がん	40歳以上	7,598人	43.5%	△412人	肝炎ウイルス	40歳以上	490人		△145人	前立腺がん	55歳以上	2,225人		△89人	腹部超音波	60・65・70歳	785人		57人	子宮がん（集団）	20歳以上	2,635人	44.8%	△132人	乳がん	40歳以上	2,772人	51.5%	△222人
検診内容	対象者	受診者数	受診率	前年度比較																																																										
健康診査	20～39歳	790人		△88人																																																										
	75歳以上	1,692人		△38人																																																										
	生活保護ほか	69人		2人																																																										
肺がん	40歳以上	7,580人	43.4%	△486人																																																										
胃がん	40歳以上	3,781人	21.6%	△433人																																																										
大腸がん	40歳以上	7,598人	43.5%	△412人																																																										
肝炎ウイルス	40歳以上	490人		△145人																																																										
前立腺がん	55歳以上	2,225人		△89人																																																										
腹部超音波	60・65・70歳	785人		57人																																																										
子宮がん（集団）	20歳以上	2,635人	44.8%	△132人																																																										
乳がん	40歳以上	2,772人	51.5%	△222人																																																										
主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金（1/2）	74千円																																																											
	府補	健康増進事業費等補助金（2/3）	1,889千円																																																											
	繰入金	再編交付金事業基金繰入金	20,000千円																																																											
	諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金（1/2以内）	4,373千円																																																											
成果・課題	<p>○昨年に引き続き未受診者対策として実施した「受診しない理由」を伺うアンケートを活用し、近年増えている大腸がん検診の申し込みがない方へ個別勧奨を実施することで、受診者を増やすことができた。 ○今後も効果的な受診勧奨を検討し、総合検診受診者数の増加及びがん検診受診率の増加を目指す。</p>																																																													
所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																																																													

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	05予防費	01予防接種事業
細事業名	01 予防接種事業			決算書 P.100
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
85,143千円	85,321千円	178千円	99.7%	94,952千円
目的	伝染のおそれがある疾病の発生及び感染予防、発病防止、症状の軽減、病気のまん延防止を図る。			
主要な事務・事業の概要	予防接種法に基づき、子どもの定期予防接種及び風しん予防接種費用への助成を実施した。			
	【予防接種の種類・接種者数等】			
	区分	対象延べ人数	接種延べ人数	接種率
	BCG	386人	351人	90.9%
	ポリオ(不活化ワクチン)	54人	25人	46.3%
	二種混合	644人	401人	62.3%
	四種混合	1,825人	1,427人	78.2%
	麻しん風しん(1期)	471人	377人	80.0%
	麻しん風しん(2期)	388人	373人	96.1%
	水痘	858人	760人	88.6%
日本脳炎 ※1	6,353人	1,901人	29.9%	
ヒブ	1,480人	1,384人	93.5%	
小児用肺炎球菌	1,602人	1,384人	86.4%	
風しん ※2		51人		
B型肝炎	1,079人	1,046人	96.9%	
子宮頸がん ※3	1,072人	1人	0.1%	
※1 日本脳炎は、ワクチン不足により勧奨を一時差し控えた。				
※2 風しんは、対象者に「妊娠を希望する女性で抗体検査等により抗体価が低い者」などの条件があり、対象人数・接種率は確定できないため表示していない。				
※3 子宮頸がん予防接種は、平成25年6月14日から積極的勧奨を差し控えている。				
○事務経費(消耗品・役務費等) 369千円				
○個別予防接種委託料 84,161千円				
○予防接種助成金等給付費(うち、風しん予防接種助成金 229千円) 613千円				
主な財源	府補 風しん予防接種助成事業補助金(1/2)			108千円
成果・課題	予防接種法に基づく予防接種であり、適正な接種と接種率の向上のために、保護者及び医療機関への情報提供、市及び医療機関の連携による接種体制の充実に努める必要がある。			
所管課	健康長寿福祉部/健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業
細事業名	01 地域医療体制整備補助金			決算書 P.102
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
3,180千円	3,180千円	0千円	100.0%	3,163千円
目的	民間病院が行った施設整備に対し支援を行うことにより、市民が安心して生活できる地域医療環境を確保する。			
主要な事務・事業の概要	地域医療を支える病院について、施設整備に係る借入金利子を補助対象として、補助金を交付した。			
	交付先医療機関及び交付額			
	法人・医療機関名	所在地	交付額	
特定医療法人三青園 丹後ふるさと病院	網野町小浜	3,180千円		
主な財源				
成果・課題	○地方の医療機関を取り巻く環境は、依然厳しいながらも、民間医療機関を支援することで、地域の医療環境の確保に寄与している。 ○引き続き支援するとともに、丹後医療圏における医療体制確保のため、地域連携や国府等への要望等に努める必要がある。			
所管課	医療部/医療政策課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業					
細事業名	02 公的病院等運営事業補助金			決算書 P.102					
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額					
60,052千円	60,052千円	0千円	100.0%	60,052千円					
目的	地域において必要とされる不採算医療等の機能を担う公的病院等について、その機能を発揮する上で必要な経費の一部を補助する。								
主要な事務・事業の概要	公的病院等が、救急医療を実施する上で必要となる医師・看護師等職員の当直及び待機に係る費用を対象経費として補助金を交付した。								
	交付先医療機関及び交付額								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>法人・医療機関名</th> <th>所在地</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公益財団法人 丹後中央病院</td> <td>峰山町杉谷</td> <td>60,052千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象経費：92,282千円</p>				法人・医療機関名	所在地	交付額	公益財団法人 丹後中央病院	峰山町杉谷
法人・医療機関名	所在地	交付額							
公益財団法人 丹後中央病院	峰山町杉谷	60,052千円							
主な財源									
成果・課題	<p>○市内救急医療体制は、民間1病院と市立2病院で行っている。救急医療を市立2病院のみで行うことは、地理、経費面、施設設備面及び人員面などから難しい状況であり、補助対象医療機関に貢献いただくことにより、救急医療体制を維持することができた。</p> <p>○引き続き支援を行い、救急医療体制を維持していく必要がある。</p>								
所管課	医療部/医療政策課								

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業			
細事業名	03 休日応急診療事業			決算書 P.102			
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額			
3,777千円	3,777千円	0千円	100.0%	3,777千円			
目的	休日における急病患者的の診療業務について、医療機関に委託して実施することにより、市民が安心して生活できる診療体制を確保する。						
主要な事務・事業の概要	休日や年末年始における急病患者的の診療業務について、市内の医療機関に委託し実施した。						
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施医療機関 丹後ふるさと病院、中江医院、弥栄病院、久美浜病院 ・実施日数 71日（日曜、祝日、年末年始） 午前9時から正午、午後2時から午後5時 ・延患者数 1,511人 						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業務内容</th> <th>委託額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休日応急診療業務委託料</td> <td>3,777千円</td> </tr> </tbody> </table>				業務内容	委託額	休日応急診療業務委託料
業務内容	委託額						
休日応急診療業務委託料	3,777千円						
主な財源							
成果・課題	<p>○休日・年末年始において、応急的な診療を受けられる医療機関を確保することで、救急診療体制を維持することができた。</p> <p>○休日診療所を開設している他の自治体もあるが、本市では、開設に係る費用をはじめ、医師・看護師等の医療スタッフの体制確保が非常に難しい状況である。したがって、業務委託で実施することが費用対効果の面でも有効であると考えているが、実施協力医療機関の確保が難しくなってきている。</p>						
所管課	医療部/医療政策課						

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	02市立診療所繰出金					
細事業名	01 市立診療所繰出金						決算書	P.102	
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実							
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額					
55,016千円	55,016千円	0千円	100.0%	55,016千円					
目的	誰もが安心して医療を受けられる地域医療の維持・充実を図るため、市内に設置している診療所の運営に必要な経費の一部を繰り出す。								
主要な事務・事業の概要	国民健康保険直営診療所事業特別会計の適正な運営のため、診療所運営経費及び市債の元利償還金の一部を繰り出した。								
	○繰出額		55,016千円						
	＜繰出金の内訳＞ (単位：千円)								
		大宮診療所	五十河診療所	間人診療所	野間診療所	佐濃診療所	宇川診療所	合計	備考
	市債元利償還金	2,256		3,167		46	107	5,576	
	賃金	1,036	845					1,881	事務員、看護師
	児童手当	150						150	
	給料			22,557				22,557	
	医療事務委託料			6,480	583	386		7,449	
	清掃業務委託料					44		44	
医師派遣費		1,855		471	1,781		4,107	市立病院から	
建設改良費	6,364					5,035	11,399		
高度医療機器保守			972				972	CT	
修繕料						197	197		
建物保険料		3				13	16		
土地借上料						261	261		
備品購入費						407	407		
合計	9,806	2,703	33,176	1,054	2,257	6,020	55,016		
主な財源									
成果・課題									
所管課	医療部/医療政策課								

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	03市立病院繰出金				
細事業名	01 市立病院繰出金						決算書	P.102
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実						
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額				
920,340千円	920,340千円	0千円	100.0%	913,140千円				
目的	市立病院の運営を維持するため、必要な経費の一部を一般会計から病院事業会計に繰り出す。							
主要な事務・事業の概要	地方公営企業法第17条の2の規定による経費の負担の原則、「地方公営企業繰出金について」等に基づき算定した繰出基準額を基本とした病院事業会計への繰出金。							
	繰出額		弥栄病院 488,660千円		久美浜病院 431,680千円		合計 920,340千円	
	(単位：千円)							
	＜繰出金の内訳＞							
		弥栄病院	久美浜病院	合計	備考			
	救急医療の確保	187,354	137,912	325,266				
	保健衛生行政	22,656	25,625	48,281				
	研究研修費	6,712	6,643	13,355				
	保健・医療・福祉の共同研修等	18,000	0	18,000				
	医師確保対策	11,712	0	11,712				
共済追加費用	10,383	9,774	20,157					
基礎年金拠出金	42,832	34,294	77,126					
児童手当	10,690	8,377	19,067					
院内保育所の運営	4,778	3,761	8,539					
建設改良(利息)	13,309	26,712	40,021	病院事業債・過疎債				
リハビリテーション医療	36,235	2,366	38,601					
高度医療	0	9,938	9,938					
へき地医療確保	498	9,277	9,775					
建設改良(償還元金)	115,952	149,801	265,753	病院事業債・過疎債				
建設改良費	349	0	349					
看護師等修学資金貸付金	7,200	7,200	14,400					
合計	488,660	431,680	920,340					
主な財源								
成果・課題								
所管課	医療部/医療政策課							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	04医療確保奨学金等貸与事業	
細事業名	01 医療確保奨学金貸与事業			決算書	P.102
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
10,200千円	10,200千円	0千円	100.0%	10,200千円	
目的	市立病院等の医療機関における医師の業務に従事する意思を有する者に対し、奨学金を貸与することにより市の医療体制の充実に必要な医師の養成及び体制確保を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>将来、市立病院等の市内医療機関に医師として勤務する意思を有する医学生及び研修医に対し、奨学金を貸与した。</p> <p>○医療確保奨学金貸与事業 10,200千円 貸与者：4人 貸与期間：平成29年4月～平成30年3月 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般医師志望者（小児科、産婦人科以外） 月額200千円×12月×3人＝7,200千円 ・小児科、産婦人科医師志望者 月額250千円×12月×1人＝3,000千円 				
主な財源					
成果・課題	<p>○貸与者のうちこれまでに5人が市立病院で勤務し、医師体制の確保の充実成果があがってきている。</p> <p>○課題として制度利用者の増加に向け、広報を強化するとともに、制度利用者が市立病院等の市内医療機関で勤務しやすい体制を整える必要がある。</p>				
所管課	医療部／医療政策課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	50医療対策一般経費	
細事業名	01 医療対策一般経費			決算書	P.102
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
491千円	558千円	67千円	87.9%	575千円	
目的	地域医療の充実と市立病院及び国民健康保険直営診療所の運営、調整のための一般経費。				
主要な事務・事業の概要	<p>医療確保を目的として、京都府立医科大学等の大学関係者や医療関係者を訪問するための職員の出張経費等を支出した。</p> <p style="text-align: right;">491千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員出張のための普通旅費 355千円 ・消耗品費（書籍、事務用品等） 43千円 ・有料道路通行料、駐車場使用料 93千円 				
主な財源					
成果・課題	<p>引き続き医師の招へいに向けた情報収集や要望活動を展開し、さらなる医療提供体制の充実に努める必要がある。</p>				
所管課	医療部／医療政策課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	01防疫対策事業	
細事業名	01 防疫対策事業			決算書	P.102
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
183千円	187千円	4千円	97.8%	183千円	
目的	京丹後市地域防災計画の災害応急対策計画に基づく防疫対策を実施するほか、害虫駆除用資材を調達し貸し出すなどにより、安全で快適な市民の生活を確保する。				
主要な事務・事業の概要	<p>台風18号等により浸水した家屋等へ防疫活動を実施するため、消毒資材を購入した。 害虫（蜂）駆除用防護服のクリーニング及び更新を行い、市民への貸し出しに備えた。</p> <p>○浸水時などの衛生面の防疫対策 52千円 ・消耗品費（災害により浸水した家屋等の消毒資材等）</p> <p>○害虫駆除対策 131千円 ・消耗品費（蜂駆除用スプレー、蜂防護服の収納箱等） 6千円 ・役務費（蜂防護服のクリーニング手数料） 7千円 ・備品購入費（蜂防護服1着）※久美浜市民局更新分 118千円</p> <p>※蜂防護服貸出実績（平成29年度） 峰山市民局 27回 大宮市民局 18回 網野市民局 36回 丹後市民局 23回 弥栄市民局 38回 久美浜市民局 53回</p>				
主な財源					
成果・課題	<p>○台風による浸水家屋等の消毒作業に要する薬品を提供することができた。 ○各市民局に蜂の防護服を配置し市民への貸出しを行うことで、蜂駆除作業時の安全を確保することができた。 ○浸水被害に備え、家屋等の床下を広範囲に消毒できる煙霧機の購入を検討する必要がある。 ○防護服の損耗・劣化等が進んでおり、今後も順次更新していく必要がある。</p>				
所管課	市民環境部/生活環境課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	02浄化槽設置整備事業																					
細事業名	01 浄化槽設置整備事業			決算書	P.102																				
総合計画	計画項目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備																							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																					
4,935千円	4,958千円	23千円	99.5%	4,405千円																					
目的	浄化槽設置整備事業の対象区域において、浄化槽を設置する者に対して補助金を交付し、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。																								
主要な事務・事業の概要	<p>○浄化槽設置整備事業費補助金 4,843千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>人槽</th> <th>設置数</th> <th>1基あたり補助金額</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5人槽</td> <td>10基</td> <td>352千円</td> <td>3,520千円</td> </tr> <tr> <td>7人槽</td> <td>3基</td> <td>441千円</td> <td>1,323千円</td> </tr> <tr> <td>10人槽</td> <td>0基</td> <td>588千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13基</td> <td></td> <td>4,843千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○京都府浄化槽推進協議会会費及び負担金 92千円</p>					人槽	設置数	1基あたり補助金額	合計	5人槽	10基	352千円	3,520千円	7人槽	3基	441千円	1,323千円	10人槽	0基	588千円	0千円	計	13基		4,843千円
人槽	設置数	1基あたり補助金額	合計																						
5人槽	10基	352千円	3,520千円																						
7人槽	3基	441千円	1,323千円																						
10人槽	0基	588千円	0千円																						
計	13基		4,843千円																						
主な財源	国補	循環型社会形成推進交付金 (1/3)		1,614千円																					
	府補	浄化槽設置整備事業費補助金 (1/3)		1,614千円																					
成果・課題	<p>○浄化槽設置整備事業の対象区域において、浄化槽設置者に補助金を交付することにより、浄化槽の設置費用の負担軽減が図られ、水洗化を促進することができた。 ○同区域において、浄化槽による水洗化を更に促進することにより、公共用水域の水質保全と生活環境の一層の改善を図る必要がある。</p>																								
所管課	上下水道部/下水道整備課																								

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	03自然環境保全対策事業	
細事業名	01 不法投棄対策事業			決算書	P.102
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
247千円	251千円	4千円	98.4%	314千円	
目的	京都府、警察、自治区と連携し、不法投棄防止啓発及び不法投棄物撤去を行うとともに、行為者に対し行政手続法に基づく指導を行う。				
主要な事務・事業の概要	<p>不法投棄物の撤去・回収及び不法投棄現場の清掃を行うとともに、地区と協力し啓発看板設置を行うなど、今後の不法投棄の被害拡大の防止に努めた。 (回収件数：18件、うち家電4品目の不法投棄：2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不法投棄防止啓発経費 52千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(不法投棄防止看板10枚) 52千円 ○不法投棄物の撤去・処理経費 195千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(ブルーシート5枚) 8千円 ・廃タイヤ、廃バッテリー等処理手数料 187千円 <ul style="list-style-type: none"> ※ 峰山最終処分場に搬入された災害による廃タイヤ 169本 網野最終処分場に搬入された不法投棄タイヤ 219本 				
主な財源					
成果・課題	<p>○地区の協力により、不法投棄物の撤去及び啓発看板の設置を行い、地域の環境保全に努めることができた。</p> <p>○「排出者責任」及び「不法投棄の違法性」について継続的に周知を図り、不法投棄の発生防止に努めるとともに、効果的な不法投棄防止策について検討を続ける必要がある。</p>				
所管課	市民環境部/生活環境課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	04狂犬病予防・動物管理事業													
細事業名	01 狂犬病予防・動物管理事業			決算書	P.102												
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承															
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額													
672千円	710千円	38千円	94.6%	710千円													
目的	狂犬病予防法に基づく狂犬病予防注射を実施するとともに、ペットの飼い主に対し適正飼育及び動物管理マナーの啓発を行い、動物愛護意識の高揚と公衆衛生向上を図る。																
主要な事務・事業の概要	<p>京都府獣医師会とともに、市内50会場で狂犬病予防接種を実施した。また、年度中に未接種の飼い主については、11月に通知を行った(474頭)。</p> <p>ペットの放し飼いやフンの放置といった動物管理に対する苦情に対して、京都府と連携して飼い主に個別対応し、啓発を行った。</p> <p>京都府と連携し、動物ふれあい教室及び動物愛護教室を行い、動物との共生について学習を行った(9月：網野北小学校、10月：橋小学校)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 11千円 <ul style="list-style-type: none"> ・職員出張旅費 ○消耗品費(愛犬手帳、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票) 35千円 ○印刷製本費 <ul style="list-style-type: none"> 狂犬病予防注射案内用封筒3,000枚、 狂犬病予防接種済票交付申請書2,500枚 71千円 ○通信運搬費(H29再通知、H30狂犬病注射案内郵送料) 188千円 ○狂犬病予防注射済票引渡事務委託料 367千円 <p><犬の登録件数(平成29年度末)></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>犬の登録数</td> <td>2,324頭</td> </tr> <tr> <td>狂犬病予防注射接種件数</td> <td>1,906頭</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市巡回接種</td> <td>694頭</td> </tr> <tr> <td>獣医委託</td> <td>1,205頭</td> </tr> <tr> <td>その他(市外)</td> <td>7頭</td> </tr> </table> <p><狂犬病予防注射接種率> 平成29年度：82.0%</p>					犬の登録数	2,324頭	狂犬病予防注射接種件数	1,906頭	内訳		市巡回接種	694頭	獣医委託	1,205頭	その他(市外)	7頭
犬の登録数	2,324頭																
狂犬病予防注射接種件数	1,906頭																
内訳																	
市巡回接種	694頭																
獣医委託	1,205頭																
その他(市外)	7頭																
主な財源	手数料	犬の登録注射業務手数料			554千円												
	府補	動物管理指導費補助金			118千円												
成果・課題	<p>○狂犬病予防注射未接種犬の飼い主への接種督促通知の送付、また、長年接種が確認できない犬の飼い主への連絡などを行うことで、接種率の向上と登録原簿の的確な更新、関連事務の効率化を図ることができた。</p> <p>○接種率の向上及び動物管理マナーの一層の向上を図るために、狂犬病予防注射の必要性及びペットの適正な飼い方について引き続き周知を行う必要がある。</p>																
所管課	市民環境部/生活環境課																

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	05堀川浄化施設維持管理事業
細事業名	01 堀川浄化施設維持管理事業			決算書 P.102
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,491千円	1,497千円	6千円	99.5%	1,438千円
目的	久美浜町一区の生活雑排水が流れ込む堀川を浄化する堀川浄化施設の維持管理を行い、久美浜湾の環境(水質)保全を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>堀川浄化施設の保守点検、消毒材の充填、水路の清掃、水質検査及び汚泥の処理等を行った。</p> <p>【堀川浄化施設】 久美浜町西本町区に位置し、堀川河口部から上流部約180mの範囲における世帯の生活雑排水を浄化処理して久美浜湾へ放流する施設。(平成6年設置) ※200人槽、長期ばっ気式、処理能力：40m³/日、用途：雑排水下水路</p> <p>○施設維持管理経費 1,491千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費(電気代・水道代) 258千円 ・修繕料(調整槽及び水路の取水ポンプ修理代) 139千円 ・堀川浄化槽等保守管理業務委託料 1,094千円 			
主な財源				
成果・課題	○久美浜湾に直接流入する家庭雑排水を浄化処理し、久美浜湾の環境保全を図ることができた。 ○公共下水への接続推進と並行して、今後の事業の継続等について検討が必要である。			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	06浄化槽整備事業特別会計繰出金																																				
細事業名	01 浄化槽整備事業特別会計繰出金			決算書 P.102																																				
総合計画	計画項目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備																																						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																				
97,000千円	97,000千円	0千円	100.0%	97,000千円																																				
目的	総務省から示される下水道事業に対する繰出基準を参考に浄化槽整備事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。																																							
主要な事務・事業の概要	<p>一般会計から浄化槽整備事業特別会計に対して繰出金を支出した。</p> <p>【繰出金の内容】</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>繰出金</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準内</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>分流式下水道等経費</td> <td>20,652</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童手当</td> <td>240</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方公営企業法適用経費</td> <td>91</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>20,983</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準外</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>起償償還元金</td> <td>12,187</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設維持管理費</td> <td>63,494</td> <td>浄化槽維持管理基数 1,363基</td> </tr> <tr> <td>建設改良費</td> <td>336</td> <td>浄化槽設置工事ほか</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>76,017</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>97,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	繰出金	備考	基準内			分流式下水道等経費	20,652		児童手当	240		地方公営企業法適用経費	91		小計	20,983		基準外			起償償還元金	12,187		施設維持管理費	63,494	浄化槽維持管理基数 1,363基	建設改良費	336	浄化槽設置工事ほか	小計	76,017		合計	97,000	
項目	繰出金	備考																																						
基準内																																								
分流式下水道等経費	20,652																																							
児童手当	240																																							
地方公営企業法適用経費	91																																							
小計	20,983																																							
基準外																																								
起償償還元金	12,187																																							
施設維持管理費	63,494	浄化槽維持管理基数 1,363基																																						
建設改良費	336	浄化槽設置工事ほか																																						
小計	76,017																																							
合計	97,000																																							
主な財源																																								
成果・課題																																								
所管課	上下水道部/下水道整備課																																							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	07資源循環推進事業
細事業名	01 エコエネルギーセンター管理運営事業			決算書 P.102
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
84,959千円	126,586千円	41,627千円	67.1%	8,073千円
目的	有機系未利用資源の再資源化の促進と循環型社会構築のための中核施設「エコエネルギーセンター」の管理運営を行う。			
主要な事務・事業の概要	年度途中(5月)に施設の消化液漏えい確認を受け、指定管理業務の変更から施設の閉鎖、施設整理保全に渡る事業を実施した。			
	《施設管理業務経費》	52,579千円		
	○指定管理委託料(期間変更:H29.10月末まで)	4,670千円		
	○補償金(指定管理業務損失補償金)	29,545千円		
	○エコエネルギーセンター整理保全業務委託(排出、整理保全等)	18,364千円		
	《調査・復旧経費》	31,242千円		
	○漏水調査委託料(発酵槽下部掘削等初期調査)	5,647千円		
	○工事請負費・需用費(配管、調査復旧、仮設、排水棟保全等)	14,417千円		
	○汚泥浚渫運搬委託料(残さ採取、浚渫、移送・運搬)	9,356千円		
	○発酵槽内洗浄・清掃業務委託料、地下タンク等清掃委託料	389千円		
○固形物残さ処理業務委託料(搬出、排出、再資源化处理)	1,433千円			
《一般管理経費》	1,138千円			
○ごみ持込処理手数料、水道開閉栓手数料、火災保険料	77千円			
○水質検査等委託料(公共水域、施設放流水、地下水)	1,061千円			
	《施設整理状況》	H28年度	H29年度	備考
	原料受入量(t)	4,686	587	H29.5月まで
	発電量(kWh)	718,174	89,226	H29.5月まで
	液肥利用量(t)	7,365	7,177	H30.3月まで
	固形物排出量(t)	-	153	※次年度繰越445t
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	91,845千円	
		実質的な予算執行率	92.5%	
	■平成30年度への繰越事業(固形物残さ処理等):平成30年5月完了			34,741千円
主な財源				
成果・課題	○発酵槽内消化液の漏えい発生に対し調査・復旧業務を行ったが、平成29年10月末をもって施設を廃止し、整理保全業務に着手した。 ○無人となる施設の管理及び部分的解体撤去並びに再活用の検討が必要である。			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	07資源循環推進事業
細事業名	02 地域バイオマス利活用推進事業			決算書 P.102
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
189千円	197千円	8千円	95.9%	3,325千円
目的	資源循環型社会の構築に向け、未利用地域バイオマス資源の利活用を推進する。			
主要な事務・事業の概要	エコエネルギーセンターの事業停止に伴い、生ごみの分別・収集、資源化处理、液肥の配布等各関係事業を年度途中で廃止した。			
	○生ごみ分別資源化事業	189千円		
	・消耗品費(分別地区液肥タンク部品)	6千円		
	・液肥運搬手数料	15千円		
	【分別地区液肥配布】			
	対象: 15か所			
	内容: 設置タンクへの液肥補充			
	実績: 31回・28.1t/4月~11月			
	・分別生ごみ処理委託料	168千円		
	【家庭系・学校系生ごみ】			
対象: 14地区/1,412世帯、市内保育所、幼稚園、小・中学校				
内容: 家庭分別生ごみ、給食調理における分別残さの受入処理				
実績: 7t/2か月				
主な財源				
成果・課題	○京丹後市エコエネルギーセンターの事業停止に伴い、生ごみの収集運搬の廃止及び分別協力地域への液肥の配布を終了した。 ○食品系残さ・地域木材・下水道汚泥等、地域バイオマス利活用に係る方針の再検討が必要である。			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	08水洗化推進支援事業																																																																																											
細事業名	01 水洗化推進支援事業			決算書 P.104																																																																																											
総合計画	計画項目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備																																																																																													
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																																																											
18,200千円	18,200千円	0千円	100.0%	18,400千円																																																																																											
目的	既存住宅において、新規排水設備工事を行った者に対して補助金を交付することにより、既存住宅の水洗化の促進及び地域経済の活性化を図る。																																																																																														
主要な事務・事業の概要	公共下水道事業、集落排水事業及び市設置型浄化槽整備事業の区域内の既存住宅において、市内に本店又は本社を置く下水道排水設備指定工事業者を利用して新規排水設備工事を行った者に対して、その工事費用の一部を補助した。																																																																																														
	○水洗化推進支援事業補助金		18,200千円																																																																																												
	<p><交付実績> (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">公共下水</th> <th colspan="2">集落排水</th> <th rowspan="2">浄化槽</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>公共</th> <th>特環</th> <th>農排</th> <th>漁排</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>80</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>44</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>31</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td></td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td></td> <td>13</td> <td>4</td> <td></td> <td>13</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>155</td> <td>23</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>31</td> <td>219</td> </tr> </tbody> </table> <p><交付内訳></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>補助単価</th> <th>交付件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般世帯</td> <td>50千円</td> <td>129件</td> <td>6,450千円</td> </tr> <tr> <td>高齢者世帯</td> <td>200千円</td> <td>29件</td> <td>5,800千円</td> </tr> <tr> <td>グループ補助</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3~10戸 (5グループ)</td> <td>70千円</td> <td>15件</td> <td>1,050千円</td> </tr> <tr> <td>11戸以上 (3グループ)</td> <td>100千円</td> <td>43件</td> <td>4,300千円</td> </tr> <tr> <td>高齢者世帯</td> <td>200千円</td> <td>3件</td> <td>600千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>219件</td> <td>18,200千円</td> </tr> </tbody> </table>					公共下水		集落排水		浄化槽	合計	公共	特環	農排	漁排	峰山	80				8	88	大宮	44		2		2	48	網野	31	5			3	39	丹後		5	0	0	4	9	弥栄			4		1	5	久美浜		13	4		13	30	合計	155	23	10	0	31	219		補助単価	交付件数	補助金額	一般世帯	50千円	129件	6,450千円	高齢者世帯	200千円	29件	5,800千円	グループ補助				3~10戸 (5グループ)	70千円	15件	1,050千円	11戸以上 (3グループ)	100千円	43件	4,300千円	高齢者世帯	200千円	3件	600千円	合計		219件
	公共下水		集落排水			浄化槽	合計																																																																																								
	公共	特環	農排	漁排																																																																																											
峰山	80				8	88																																																																																									
大宮	44		2		2	48																																																																																									
網野	31	5			3	39																																																																																									
丹後		5	0	0	4	9																																																																																									
弥栄			4		1	5																																																																																									
久美浜		13	4		13	30																																																																																									
合計	155	23	10	0	31	219																																																																																									
	補助単価	交付件数	補助金額																																																																																												
一般世帯	50千円	129件	6,450千円																																																																																												
高齢者世帯	200千円	29件	5,800千円																																																																																												
グループ補助																																																																																															
3~10戸 (5グループ)	70千円	15件	1,050千円																																																																																												
11戸以上 (3グループ)	100千円	43件	4,300千円																																																																																												
高齢者世帯	200千円	3件	600千円																																																																																												
合計		219件	18,200千円																																																																																												
主な財源	府補 未来づくり交付金(水洗化推進支援補助金)			6,000千円																																																																																											
成果・課題	<p>○グループ補助制度が最終年度となり、工事説明会等において積極的に周知を行った結果、グループ補助制度の利用者が増加した。</p> <p>○引き続き普及推進員による戸別訪問や工事説明会、広報紙等を通じて下水道事業に対する理解や各種接続支援策の周知を図るとともに、今後の接続推進の在り方について検討する必要がある。</p>																																																																																														
所管課	上下水道部/下水道整備課																																																																																														

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	09美しいふるさとづくり事業
細事業名	01 環境基本計画推進事業			決算書 P.104
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
53千円	69千円	16千円	76.8%	69千円
目的	環境基本計画推進委員会を設置し、計画進捗管理を行うとともに、計画に基づく施策の推進により市民・事業者等への環境保全意識の普及・啓発を図る。			
主要な事務・事業の概要	平成29年8月をもって環境基本計画推進委員会の委員任期が満了 平成30年度の第2期計画策定に向け、第1期計画の進捗確認と総括を行った。			
	○環境基本計画推進委員会(委員15人×1回)		53千円	
	開催日：平成29年8月1日			
	・委員謝金		48千円	
	・委員費用弁償		5千円	
主な財源				
成果・課題	<p>○平成20年以降、10年間の計画期間に渡り計画事業を管理・推進した。</p> <p>○第2期環境基本計画の策定を見据え、計画の進捗状況の把握、評価及び総括を行った。</p>			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	09美しいふるさとづくり事業	
細事業名	02 自然環境保全活動事業			決算書	P.104
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
165千円	208千円	43千円	79.3%	208千円	
目的	市域の美しく豊かな自然に触れる機会を通じて環境保全意識の啓発・高揚を図り、行政、市民及び事業者等が一体となった美しいふるさとづくりを推進する。				
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○自然観察会、子供体験活動の実施 1千円 <ul style="list-style-type: none"> ・紅葉のブナ林観察会（平成29年11月5日、一般対象、参加：7人） 講師謝金（ブナ林観察会 2人） 14千円 消耗品費（チラシ用紙） 1千円 ・水生生物調査（京都府出前語らい事業、夏休みキャンプ事業で実施） ○丹後の豊かな環境づくり推進会議 150千円 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み少女エコ体験ツアー（平成29年8月18日、参加：11人） ・丹後環境シンポジウム（平成30年2月4日、4小学校による発表・基調講演等） バス運転委託料（児童送迎） 36千円 ・丹後の豊かな環境づくり推進会議負担金 114千円 				
主な財源					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ブナ林観察会・水生生物調査の実施など、自然環境に触れ合う機会を提供した。 ○京都府や教育委員会と連携し環境保全意識の啓発をより効果的に実施した。 ○自然環境保全の意識醸成のため、保護と活用の両面から機会を提供する必要がある。 				
所管課	市民環境部/生活環境課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	09美しいふるさとづくり事業	
細事業名	03 美しいふるさとづくり推進事業			決算書	P.104
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
3,147千円	3,150千円	3千円	99.9%	4,575千円	
目的	美しいふるさとづくり条例の規定に基づく事務事業を実施し、次代に継承すべき自然環境を守り、社会的活用の促進を通じた持続可能な環境共生のまちづくりを推進する。				
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○美しいふるさとづくり審議会（委員9人×1回） 72千円 <ul style="list-style-type: none"> 内容： 第2期京丹後市環境基本計画の策定に向けて 開催： 平成29年12月19日 ・委員報酬 20千円 ・費用弁償 52千円 ○第2期環境基本計画基礎資料作成委託料 2,138千円 <ul style="list-style-type: none"> （自然的社会的条件等に係る既存情報の把握、整理 温室効果ガス排出量等の算定、分析 市民意識調査の実施（対象：市民1,300人/事業所200件） ○美しいふるさとづくり推進事業費補助金 788千円 <ul style="list-style-type: none"> ・監視指導事業（補助率2/3 1団体） 100千円 ・啓発共生事業（補助率2/3 1団体） 688千円 ○事業推進経費 149千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（啓発ラベル・のぼり旗） 30千円 ・印刷製本費（特定外来生物駆除啓発） 33千円 ・委託料（旧環境保全区域指定 看板撤去） 40千円 ・委託料（新環境共生推進地域指定 看板設置） 46千円 				
主な財源					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○第2期環境基本計画の策定に向け、美しいふるさとづくり審議会で策定協議を開始し、現状を整理するとともに、調査業務を実施し基礎資料を得た。 ○条例に基づき、環境共生推進地域の指定、活動支援を行った。 ○さらなる地域指定の拡充と主体性の醸成、共生活動の創出が必要である。 				
所管課	市民環境部/生活環境課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	10海岸漂着物回収処理事業																							
細事業名	01 海岸漂着物回収処理事業			決算書 P.104																							
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承																									
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額																							
52,466千円	52,572千円	106千円	99.7%	13,720千円																							
目的	海岸における良好な景観及び環境の保全を図るため、京都府の補助事業を活用し、地区等に委託して海岸漂着物等の回収・処理を行い、海岸漂着物対策を推進する。																										
主要な事務・事業の概要	<p>京都府の補助事業を活用して地元区等に海岸清掃を委託し、海岸の清掃保持と良好な景観を維持するとともに、回収した海岸漂着物を市外で処理することで最終処分場の埋立量の抑制を図った。</p> <p>また、台風18号により漂着したごみについても、地元区等へ委託し海岸清掃を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 3千円 ○海岸漂着物処理手数料 23,830千円 ○廃棄物受入承認手数料等 34千円 ○海岸漂着物回収処理委託料(地元区・地元団体) 28,599千円 <ul style="list-style-type: none"> ・海岸漂着物回収処理委託料(補助事業 府管理海岸) 5,697千円 ・海岸漂着物回収処理委託料(補助事業 市管理海岸) 3,649千円 ・海岸漂着物回収処理委託料(台風18号 府管理海岸) 15,365千円 ・海岸漂着物回収処理委託料(台風18号 市管理海岸) 3,888千円 <p><補助事業実施海岸></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>海岸名</th> <th>管理</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">久美浜</td> <td>箱石湊宮葛野海岸</td> <td>府</td> <td rowspan="6">観光振興課</td> </tr> <tr> <td>蒲井東海岸</td> <td>市</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">網野</td> <td>浜詰海岸、浅茂川海岸、小浜海岸</td> <td>府</td> </tr> <tr> <td>琴引浜(遊・掛津)</td> <td>市</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">丹後</td> <td>後ヶ浜海岸、上野平海岸、久僧海岸</td> <td>府</td> </tr> <tr> <td>砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸</td> <td>市</td> </tr> <tr> <td>上向下向海岸、尾和海岸、岩田海岸</td> <td>府</td> <td>管理課</td> </tr> </tbody> </table>				地域	海岸名	管理	担当課	久美浜	箱石湊宮葛野海岸	府	観光振興課	蒲井東海岸	市	網野	浜詰海岸、浅茂川海岸、小浜海岸	府	琴引浜(遊・掛津)	市	丹後	後ヶ浜海岸、上野平海岸、久僧海岸	府	砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸	市	上向下向海岸、尾和海岸、岩田海岸	府	管理課
地域	海岸名	管理	担当課																								
久美浜	箱石湊宮葛野海岸	府	観光振興課																								
	蒲井東海岸	市																									
網野	浜詰海岸、浅茂川海岸、小浜海岸	府																									
	琴引浜(遊・掛津)	市																									
丹後	後ヶ浜海岸、上野平海岸、久僧海岸	府																									
	砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸	市																									
	上向下向海岸、尾和海岸、岩田海岸	府	管理課																								
主な財源	府補 市債	海岸漂着物地域対策推進事業補助金(8/10~10/10) その他公共施設災害復旧事業債	10,417千円 8,900千円																								
成果・課題	<p>○市内16海岸で海岸清掃を行い、景観保護と環境保全を行うことができた。</p> <p>○事業継続と財源確保に向けて、引き続き、国及び府に対して支援を求めていく必要がある。</p>																										
所管課	市民環境部/生活環境課																										

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	11地球温暖化防止対策事業
細事業名	01 地球温暖化防止対策推進事業			決算書 P.104
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,994千円	2,998千円	4千円	99.8%	1,923千円
目的	需要分野における地球温暖化対策として、市民一人ひとりの賢い選択(クールチョイス)を促し、低炭素で環境に負荷を与えない暮らしづくりを推進する。			
主要な事務・事業の概要	<p>市環境基本計画に基づき、環境省が進める平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業(国民運動「クールチョイス」)を活用して、地域の自然環境保全及び温室効果ガスの排出抑制に貢献する事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域人材育成事業 146千円 <ul style="list-style-type: none"> ※参加者数：10人(うち認定者数：9人、市内累計14人) 【環境保全(クールチョイス推進)リーダー養成講座(5回)の講師謝金・旅費】 ○エコドライブ推進事業 ※参加者数：10人 218千円 <ul style="list-style-type: none"> 【エコドライブ講習の実施委託、公募チラシ作成、新聞折込等】 ○家庭向け省エネ・節電推進事業 ※参加者数：延べ48人 659千円 <ul style="list-style-type: none"> 【省エネ・節電アドバイザー養成セミナー、診断会の実施委託、公募チラシ作成、新聞折込等】 ○企業向けクールチョイス推進及びEMS導入促進事業 179千円 <ul style="list-style-type: none"> ※参加者数：12人(9事業者) 【環境経営セミナーの講師謝金・旅費、公募チラシ作成等】 ○次代のクールチョイス推進リーダー養成事業※研修会参加者数：6人 1,200千円 <ul style="list-style-type: none"> 【小・中学生向け温暖化啓発資料の作成、研修会の実施委託】 ○クールチョイス普及啓発事業 ※来場者数：約200人 592千円 <ul style="list-style-type: none"> 【環境フェアの講師謝金・旅費、広報チラシ・啓発ポスター・啓発リーフレット等の作成、新聞折込等】 			
主な財源	国補	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(10/10)	2,671千円	
成果・課題	<p>○環境基本計画で掲げている市の取組(ごみ減量優良協力店認定(4件)、環境保全リーダー認定)を更に進めることができた。</p> <p>○地球温暖化がもたらすリスク及びその対応策(適応・緩和)の必要性について、市民が認識するための機会や情報を提供することができた。</p> <p>○行政・市民・事業者等全ての人の協働と参画により、持続可能な発展をとげられるような温暖化施策を推進していく必要がある。</p>			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	11地球温暖化防止対策事業
細事業名	02 省エネ・グリーン化推進事業			決算書 P.104
総合計画	計画項目 5 次世代への美しい自然環境の継承			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
5,154千円	5,154千円	0千円	100.0%	5,154千円
目的	環境配慮型の低炭素社会実現を目指すため、市が管理する防犯灯及び道路灯のLED化を推進し、維持管理経費削減及び省エネによる地球温暖化防止を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>環境省の「地球温暖化対策推進事業費補助金」を活用し、LED化した市管理分の街路灯（防犯灯・道路灯）のリース料を支払った。</p> <p>OLED街路灯等賃借料 5,154千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リース料 : 429,450円/月×12か月 ・リース開始 : 平成26年3月1日 ・リース期間 : 120か月（10年間） ・リース対象 : 1,844基（防犯灯1,697基+道路灯147基） <p>※LED化による電気料金及び維持管理経費の削減分をその導入財源とするリース方式で、リース期間内における維持管理を含めた包括的サービスの提供を受ける（リース期間終了後は無償譲渡）。</p>			
主な財源				
成果・課題	<p>○広く市民の目に触れる防犯灯及び道路灯を消費電力の少ないLEDへ切り替えたことにより、二酸化炭素の排出を抑制するとともに、市民・事業者へ向けて、省エネ機器を普及啓発（購入・貸借）することができた。</p> <p>○国の温室効果ガスの排出削減目標に従い、整備コストと歳出削減とのバランスに配慮しながら、その他の公共施設にも省エネで二酸化炭素削減効果の高い設備・機器等の導入を促進していく必要がある。</p>			
所管課	市民環境部/市民課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	12新エネルギー対策推進事業
細事業名	01 再生可能エネルギー推進事業			決算書 P.104
総合計画	計画項目 6 新エネルギーの開発と活用促進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
836千円	844千円	8千円	99.0%	970千円
目的	地域における再生可能エネルギーの促進体制を構築し、地域が主体的に再生可能エネルギーを活用するための環境整備を行う。			
主要な事務・事業の概要	<p>○事業推進経費 188千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員旅費 143千円 ・有料道路通行料 41千円 ・駐車場使用料 4千円 <p>○再生可能エネルギー設備保守経費 648千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料（緊急時電力確保用設備点検：弥栄小学校） 			
主な財源				
成果・課題	<p>○再生可能エネルギー導入促進基本方針により環境整備を進める必要がある。</p> <p>○避難所設置の緊急時電力確保対策設備について、引き続き安定稼働を図る必要がある。</p>			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	12新1種-対策推進事業
細事業名	02 利活用推進プラットフォーム事業			決算書 P.104
総合計画	計画項目	6 新エネルギーの開発と活用促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
4,082千円	4,118千円	36千円	99.1%	6,396千円
目的	再生可能エネルギーをはじめとするクリーンエネルギーの利活用環境をプラットフォームとして整え、地域の自立型エネルギーの利活用を広く推進する。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○EV等充電ステーション運営管理（市内7か所） 2,990千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費（施設供給電気料金） 2,871千円 ・修繕料（道の駅てんきてんき丹後：プレーカー） 8千円 ・通信運搬費（認証システム利用料） 78千円 ・保険料（火災保険料） 33千円 ○地産地消型エネルギー導入促進支援補助金 1,092千円 <ul style="list-style-type: none"> ※再生可能エネルギー利用設備導入に対する補助金の交付（11件） ・太陽光発電設備 9件（49.68kW） 992千円 ・木質ストーブ 2件（2台） 100千円 			
主な財源	諸収入	EVCステーション貸付使用権利金	331千円	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートEV充電ステーションの運営、地産地消型エネルギー導入促進支援補助金制度等により、多面的に再生可能エネルギーの利活用推進を図ることができた。 ○市民太陽光発電所事業、EVCステーションの権利金収入を活用し、安定的かつ経済的な事業運営を行う必要がある。 			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	50環境衛生一般経費
細事業名	01 環境衛生一般経費			決算書 P.104
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
273千円	363千円	90千円	75.2%	684千円
目的	環境衛生事務を円滑に行うため必要となる一般経費。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 事務用品購入、職員旅費、公用車の維持管理経費のほか、負担金の支出を行った。 ○事務一般経費 263千円 <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 77千円 ・需用費（消耗品費、公用車燃料費、公用車修繕料） 137千円 ・役務費（自動車保険料） 19千円 ・使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料） 30千円 ○負担金、補助及び交付金 10千円 <ul style="list-style-type: none"> ・バイオガス事業推進協議会負担金 10千円 			
主な財源				
成果・課題	適切な事務執行により、環境衛生事業全般を円滑に実施することができた。			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	08公害対策費	01公害対策事業
細事業名	01 公害対策事業			決算書 P.104
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
652千円	666千円	14千円	97.8%	666千円
目的	騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づき、公害等に関する啓発広報等を行うとともに、自動車騒音常時測定監視業務を実施する。			
主要な事務・事業の概要	<p>○旅費 2千円 職員出張旅費(担当者会議) 2千円</p> <p>○委託料 650千円 ・悪臭等未然防止協定による草刈委託(樋越川) 60千円 ・河川水質検査委託(峰山4か所、網野2か所) 92千円 ・自動車騒音常時監視面的評価業務委託 498千円</p> <p>※野焼き(3件) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく行政指導を行った。</p> <p>※騒音・振動・悪臭苦情(8件) 騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく行政指導、当事者間の調整等を行い、解決に努めた。</p> <p>※水質・大気汚染対応(3件) 水質汚濁防止法、大気汚染防止法に基づく京都府の対応に協力を行った。</p> <p>※自動車騒音常時監視 騒音規制法第18条に基づき、自動車騒音の常時監視及び面的評価業務を行い、本市内の環境基準の達成状況を把握した。 ・測定日:平成29年10月31日~11月1日 ・測定場所:一般国道312号(大宮町谷内~峰山町長岡) ・測定結果:環境基準(目標値)=昼間70dB・夜間65dB 測定結果(1か所)=6-21時 68dB・22-5時 62dB</p>			
主な財源				
成果・課題	<p>○公害及び苦情案件に対し、迅速かつ適正に対応することができた。</p> <p>○自動車騒音常時監視面的評価の実施により、本市の環境基準の達成状況を把握できた。</p> <p>○野焼きに関する苦情が多く、野焼き禁止に関する広報を更に行っていく必要がある。</p>			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09火葬場費	02火葬場管理運営事業
細事業名	01 火葬場管理運営事業			決算書 P.104
総合計画	計画項目	29 効率的・効果的な行財政運営		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
36,840千円	37,183千円	343千円	99.0%	38,104千円
目的	火葬場の維持管理及び火葬執行並びに霊柩車の運行管理業務を行う。			
主要な事務・事業の概要	<p>○施設維持管理及び火葬執行経費 31,010千円 ・臨時職員賃金及び社会保険料等(5人) 14,202千円 ・消耗品費(棺架台用五徳、香炭等) 557千円 ・燃料費(火葬炉用灯油、混合油) 2,939千円 ・光熱水費(電気代、下水道使用料、水道代) 6,289千円 ・修繕料(電話回線修繕) 11千円 ・火災保険料 32千円 ・残骨灰処理委託料 126千円 ・公用車維持管理経費(軽箱バン1台、小型除雪車1台) 158千円 ・施設設備改修工事費 3,240千円 (主燃焼炉耐火材、炉内台車耐火材、再燃焼炉耐火材修繕) ・その他管理経費(自動ドア保守、環境測定委託料等) 3,456千円</p> <p>○霊柩車運行管理経費 5,830千円 ・霊柩車運行業務委託料 4,950千円 ・霊柩車維持管理経費(霊柩車4台(1台車検)) 880千円 (燃料費、修繕料、登録手数料、自動車損害保険料等)</p> <p>※平成29年度火葬場使用実績:889件</p>			
主な財源	使用料	火葬場使用料現年度分	12,611千円	
	使用料	霊柩車使用料	6千円	
成果・課題	<p>○火葬業務を停滞させることなく、概ねスムーズに施設の管理運営を行うことができた。</p> <p>○霊柩車の老朽化が進行する中、将来の運行業務の在り方について検討が必要である。</p>			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	10水道費	01簡易水道事業特別会計繰出金
細事業名	01 簡易水道事業特別会計繰出金			決算書 P.104
総合計画	計画項目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
300,605千円	300,605千円	0千円	100.0 %	312,857千円
目的	総務省から示される簡易水道事業に対する繰出基準を参考に簡易水道事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。			
主要な事務・事業の概要	一般会計から簡易水道事業特別会計に対して繰出金を支出した。			
	【繰出金の内容】			
		項 目	繰 出 金	
	基準内	起債元利償還金（臨時措置分）	6,803 千円	
		起債元利償還金（簡易水道事業債）	97,771 千円	
		起債元利償還金（未普及解消緊急対策分）	101,226 千円	
		児童手当	836 千円	
		小 計	206,636 千円	
	基準外	起債元利償還金（辺地・過疎対策事業債）	93,969 千円	
		小 計	93,969 千円	
	合 計	300,605 千円		
主な財源				
成果・課題	/			
所管課	上下水道部/水道整備課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	10水道費	02水道事業会計繰出金
細事業名	01 水道事業会計繰出金			決算書 P.104
総合計画	計画項目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
44,364千円	245,564千円	201,200千円	18.0 %	245,444千円
目的	水道水の安定供給を確立するため、上水道統合事業を実施する水道事業会計を支援する。			
主要な事務・事業の概要	水不足が懸念される網野町、丹後町及び大宮町給水区域への水融通を行うための施設整備に対して、出資金を支出した。			
	○水道事業一般会計出資金			38,800千円
	対象事業：中野浄水場改良事業 事業費：77,692千円			
	○企業債元利償還繰出金（統合前簡水分）			4,728千円
	○児童手当分繰出金			836千円
	参 考	過次繰越費を除いた最終予算額	44,364千円	
		実質的な予算執行率	100.0 %	
	■平成30年度への繰越事業			
	・水道事業一般会計出資金（平成30年10月完成予定） 201,200千円 対象事業：中野浄水場改良事業 事業費：424,308千円			
	主な財源	市債	水道事業一般会計出資債（合併特例債）	38,800千円
成果・課題	/			
所管課	上下水道部/水道整備課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	02古紙リサイクル推進事業																												
細事業名	01 古紙リサイクル推進事業			決算書 P.106																												
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進																														
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額																												
11,348千円	11,437千円	89千円	99.2%	13,018千円																												
目的	古紙回収活動団体への補助金交付により、年間総排出量及び焼却処理量を削減するとともに、リサイクル率を向上させ、循環型社会の形成を推進する。																															
主要な事務・事業の概要	<p>共同作業所、小中学校PTA、婦人会等古紙回収団体に対し、回収量に応じた補助金を交付することで、市民のリサイクル意識の向上、古紙再生利用の促進、焼却ごみ量の抑制を図った。</p> <p>また、雑がみ分別推進へ向け、NPO法人及び市職員による出前講座を実施した。</p> <p>○委託料 138千円 ・雑がみ資源化促進業務委託料（出前講座実施回数：18回）</p> <p>○負担金、補助金及び交付金（5円/kg） 11,210千円 【申請件数】延べ 205 件 【交付団体】 54 団体</p> <p><内訳> (単位：kg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新聞紙</th> <th>段ボール</th> <th>雑誌</th> <th>紙パック</th> <th>雑がみ</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>744,710</td> <td>898,020</td> <td>568,150</td> <td>9,968</td> <td>21,230</td> <td>2,242,078</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>765,910</td> <td>894,830</td> <td>576,680</td> <td>11,175</td> <td>4,410</td> <td>2,253,005</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>862,531</td> <td>966,400</td> <td>632,811</td> <td>14,702</td> <td>11,110</td> <td>2,487,554</td> </tr> </tbody> </table>				年度	新聞紙	段ボール	雑誌	紙パック	雑がみ	合計	H29	744,710	898,020	568,150	9,968	21,230	2,242,078	H28	765,910	894,830	576,680	11,175	4,410	2,253,005	H27	862,531	966,400	632,811	14,702	11,110	2,487,554
年度	新聞紙	段ボール	雑誌	紙パック	雑がみ	合計																										
H29	744,710	898,020	568,150	9,968	21,230	2,242,078																										
H28	765,910	894,830	576,680	11,175	4,410	2,253,005																										
H27	862,531	966,400	632,811	14,702	11,110	2,487,554																										
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	2,000千円																													
	諸収入	ADP/IT/IT/IT 宝くじ市町村等交付金	7,776千円																													
	諸収入	資源回収の古紙販売代金	200千円																													
成果・課題	<p>○補助金交付により各団体活動の動機付けと市民の分別意識の向上が図れた。</p> <p>○市民にとって身近な排出場所を確保するため、古紙回収団体等と連携し排出場所の広報を行った。また、NPO法人及び市職員による雑がみ分別の出前講座を行い、家庭内において、排出者が雑がみ分別を始める動機付けを行うことができた。</p> <p>○焼却施設への負荷軽減及び最終処分場の延命化を図るため、引き続き雑がみの分別・再資源化を推進する必要がある。</p>																															
所管課	市民環境部/生活環境課																															

予算科目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	04小型家電リサイクル推進事業						
細事業名	01 小型家電リサイクル推進事業			決算書 P.106						
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進								
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額						
1,048千円	1,134千円	86千円	92.4%	1,134千円						
目的	小型家電リサイクル法に基づき、携帯電話等の使用済み小型家電を分別回収・リサイクル処理することで、最終処分場の延命化と有用金属の再資源化を進める。									
主要な事務・事業の概要	<p>再生可能な使用済み小型家電を市外の国認定事業者へ有料で引渡し、再資源化と廃棄物最終処分量の減量化を図った。</p> <p>○役務費 1,048千円 ・小型電子機器運搬・処理（リサイクル）手数料</p> <table border="1"> <tr> <td>処理量</td> <td>77,610kg</td> </tr> <tr> <td>処理手数料単価</td> <td>6.5円/kg（税抜）</td> </tr> <tr> <td>運搬手数料単価</td> <td>6.0円/kg（税抜）</td> </tr> </table>				処理量	77,610kg	処理手数料単価	6.5円/kg（税抜）	運搬手数料単価	6.0円/kg（税抜）
処理量	77,610kg									
処理手数料単価	6.5円/kg（税抜）									
運搬手数料単価	6.0円/kg（税抜）									
主な財源										
成果・課題	<p>○使用済み小型家電を埋立てず外部処理に回すことで、再資源化及び埋立ごみの減量につながり、最終処分場の延命化を図ることができた。</p> <p>○事業の周知を継続し分別排出を定着させ、更なる有用金属の回収・再資源化を進める必要がある。</p>									
所管課	市民環境部/生活環境課									

予算科目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	50清掃総務一般経費
細事業名	01 清掃総務一般経費			決算書 P.106
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
4,142千円	4,171千円	29千円	99.3%	4,374千円
目的	各自治会の協力によりごみステーションの適正管理と分別指導等を推進し、ごみ減量意識の高揚を図るとともに、ごみの減量化・再資源化の取組を進める。			
主要な 事業の 概要	○廃棄物減量等協力謝金		3,989千円 (前年度の3分の2、31年度末で廃止予定)	
	＜廃棄物減量等協力謝金支払実績＞			
		ステーション数	協力謝金	
	峰山市民局管内	49か所	834千円	※地区ごとの「資源ごみステーション数×6,500円」 又は「住基人口×100円」 のいずれか多い額×2/3
大宮市民局管内	38か所	691千円		
網野市民局管内	88か所	937千円		
丹後市民局管内	101か所	456千円		
弥栄市民局管内	35か所	369千円		
久美浜市民局管内	100か所	702千円		
計	411か所	3,989千円		
	○その他		153千円 (旅費、火災保険料、有料道路使用料、駐車場使用料、協議会負担金)	
主な財源				
成果・課題	各地区内の資源ごみステーションにおける分別指導及びステーション管理を地元自治会の協力を得て行うことにより、資源ごみの分別水準を維持することができた。			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	02家庭ごみ収集運搬事業
細事業名	01 家庭ごみ収集運搬事業			決算書 P.106
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
249,708千円	249,830千円	122千円	99.9%	257,067千円
目的	一般廃棄物処理基本計画に基づき、家庭ごみのステーション収集を行うとともに、指定ごみ袋及び収集カレンダーを作成し、ごみの分別、減量及びリサイクルを促進する。			
主要な 事業の 概要	市内取扱店舗等に市指定ごみ袋の販売を委託し、市民へ提供した。 また、一般廃棄物収集運搬業務を民間事業者へ委託し、家庭ごみの収集を行った。			
	○消耗品費			20,368千円
	可燃ごみ袋(大170万枚、小65万枚、ミニ18万枚) 不燃ごみ袋(大12.5万枚) 資源ごみ回収ボックス(200個) 資源ごみ回収コンテナ(100個)			
	○印刷製本費			249千円
○役務費			7,927千円	
○手数料				
ごみ袋販売手数料(委託業者147者、175店舗 ※H30.3.31現在) ＜H29年度販売枚数＞				
	種類	大	小	ミニ
	可燃ごみ	1,736,500枚	700,500枚	189,000枚
	不燃ごみ	112,925枚	37,405枚	
○一般廃棄物収集運搬委託料(4~9月分の生ごみ分別収集含む)			221,029千円	
○その他(重機借上料等)			135千円	
主な財源	手数料	可燃ごみ(ごみ袋)処理手数料	68,940千円	
	手数料	粗大ごみ処理手数料	23千円	
	手数料	一般廃棄物収集運搬業許可手数料	140千円	
	手数料	一般廃棄物処分業許可手数料	10千円	
	手数料	不燃ごみ(ごみ袋)処理手数料	4,458千円	
成果・課題	○指定ごみ袋の購入に関して、在庫数量を適正に管理するとともに、市内の各店舗に販売を委託することで、市民の利便性を確保することができた。 ○家庭ごみを適正に収集・運搬することで、地域の衛生環境の保全ができた。 ○廃棄物処理法の規定に従い、引き続き事業を適正に執行し、衛生的な市民生活を確保していく必要がある。			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	03峰山クリーンセンター-管理運営事業
細事業名	01 峰山クリーンセンター-管理運営事業			決算書 P.106
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
477,885千円	514,628千円	36,743千円	92.8%	522,530千円

目的 市内で発生する可燃ごみ及び資源ごみを適正かつ安定的に処理するため、中間処理(焼却・分別保管)施設の維持管理業務を行う。

主要な事務・事業の概要

市内で発生する一般廃棄物(可燃ごみ・資源ごみ)を処理するため、施設の運営及び維持管理等に必要経費を支出した。

- クリーンセンター運営管理委託料 248,634千円
- クリーンセンター維持補修工事(設計監理委託料、工事請負費) 62,856千円
- 基幹的設備改良工事(H29年度出来高部分) 54,364千円
- 地元対策交付金(内記区、丹波区、矢田区、吉澤区) 6,750千円
- その他の経費(薬品代・光熱水費等) 105,281千円

【峰山クリーンセンター搬入状況】 (単位:t)

	総搬入量		業者持込		直接持込	
	重量	対前年度	重量	重量	重量	重量
H29	17,284	0.4%	10,242	7,042	台風災害ごみ(約126t)	
H28	17,220	△2.2%	10,424	6,796		
H27	17,602	△2.6%	10,633	6,969		

- ・可燃ごみ焼却量 15,891 t
- ・資源ごみ処理量 848 t

アルミ缶 41t、スチール缶 54t、PETボトル 109t、容器包装プラ 264t
無色ビン 166t、茶色ビン 134t、その他ビン 62t、発砲スチロール 18t

<ダイオキシン類測定結果(平成29年9月4日、7日、11月9日測定)>
1~4号炉排ガス・焼却灰、飛灰は全て基準値(0.1ng-TEQ/Nm³)以下の数値を計測 ※ng(ナノグラム)は、10億分の1g

参考	通次繰越費を除いた最終予算額	478,137千円
	実質的な予算執行率	99.9%

■平成30年度への繰越事業 36,491千円
・クリーンセンター基幹的設備改良工事 平成30年5月完成

主な財源	使用料・手数料	公有財産使用料、峰山クリーンセンター持込ごみ処理手数料	29,993千円
	国補	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(1/2)	27,135千円
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	43,000千円
	諸収入	資源ごみ売却代金、再商品合理化拠出金	13,168千円
	市債	峰山クリーンセンター整備事業債(過疎対策債)	27,200千円

成果・課題

- 焼却処理に伴う排ガス中のダイオキシン類を含む公害関係の検査結果は全て法定基準値内であり、市内で発生する可燃ごみ及び資源ごみを安全かつ適正に処理できた。
- 市内小学生等を対象に施設見学会等を実施し(延べ22校)、ごみ減量に対する啓発をすることができた。
- 施設の稼働予定年限である平成43年度末を見据え、基幹的設備改良工事を進めていく必要がある。

所管課 市民環境部/生活環境課

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	04峰山最終処分場管理運営事業
細事業名	01 峰山最終処分場管理運営事業			決算書 P.106
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
34,486千円	34,498千円	12千円	99.9%	30,943千円

目的 施設の維持管理及び運営を行い、市内で発生する不燃ごみ、不燃性粗大ごみ、焼却残渣の埋立処理及び浸出水処理を行う。

主要な事務・事業の概要

主に峰山町内から搬入された不燃ごみの埋立処分を行った。また、再生可能な廃棄物(金属類・廃家電・廃プラスチック類)の分別を行い、市外の再生業者等へ持出処理を行うことにより、埋立ごみの抑制及び再資源化率の向上を図った。

- 最終処分場運営管理委託料 13,086千円
- 水質検査等委託料(ダイオキシン類を含む) 1,115千円
- 資源ごみ(廃家電・廃プラスチック類)処理委託料 674千円
- 災害廃棄物処理委託料 2,757千円
- 浸出水処理施設整備工事 7,560千円
- 地元対策交付金(内記区) 1,500千円
- その他経費(薬品代・光熱水費等) 7,794千円

<峰山最終処分場搬入状況> (単位:t)

	総搬入量		業者持込		直接持込	
	重量	対前年度	重量	重量	重量	重量
H29	1,015	83.9%	131	884	台風災害ごみ(約124t)	
H28	552	△2.3%	130	422		
H27	565	△49.4%	132	433		

<ダイオキシン類測定結果(平成29年10月13日測定)>
全て基準値(放流水:10pg-TEQ/l、地下水:上流・下流:1pg-TEQ/l)
以下の数値を計測 ※pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラム

<リサイクル処理量>
金属類(売却)26t、廃プラスチック(処分)6t、廃家電品(処分)31t

主な財源	手数料	峰山最終処分場持込ごみ処理手数料	1,792千円
	府補	災害等廃棄物処理事業補助金(1/2)	1,421千円
	諸収入	資源ごみ売却代金	508千円

成果・課題

- 市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。
- 浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準内であり、施設の安全稼働ができた。
- 施設の稼働予定年限である平成35年度末に向けて、埋立残存量(H29.10月:72%終了)を監視しながら、埋立ごみ減量に向けた取組を推進する必要がある。

所管課 市民環境部/生活環境課

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	05大宮最終処分場管理運営事業																								
細事業名	01 大宮最終処分場管理運営事業			決算書 P.106																								
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進																										
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																								
36,090千円	36,217千円	127千円	99.6%	38,789千円																								
目的	施設の維持管理及び運営を行い、市内で発生する不燃ごみ、不燃性粗大ごみ、焼却残渣の埋立処理及び浸出水処理を行う。																											
主要な事務・事業の概要	<p>主に大宮町内から搬入された不燃ごみの埋立処分を行った。また、再生可能な廃棄物（金属類・廃家電・廃プラスチック類）の分別を行い、市外の再生業者等へ持出処理を行うことにより、埋立ごみの抑制及び再資源化率の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最終処分場運営管理委託料 14,612千円 ○水質検査等委託料（ダイオキシン類を含む） 545千円 ○資源ごみ（廃家電・廃プラスチック類）処理委託料 337千円 ○浸出水処理施設整備工事（凝集攪拌槽更新、攪拌プロウ取替） 10,908千円 ○事務所エアコン取替工事 214千円 ○地元対策交付金（三坂区） 1,500千円 ○その他経費（薬品代・光熱水費等） 7,974千円 <p><大宮最終処分場搬入状況> (単位：t)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">総搬入量</th> <th>業者持込</th> <th>直接持込</th> </tr> <tr> <th>重量</th> <th>対前年度</th> <th>重量</th> <th>重量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>1,533</td> <td>2.7%</td> <td>153</td> <td>1,380</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,492</td> <td>△1.6%</td> <td>148</td> <td>1,344</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,517</td> <td>13.4%</td> <td>157</td> <td>1,360</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">台風災害ごみ (約7t)</p> <p><ダイオキシン類測定結果（平成29年12月7日測定）> 全て基準値（放流水：10pg・TEQ/ℓ、地下水・上流・下流：1pg・TEQ/ℓ） 以下の数値を計測 ※pg（ピコグラム）は、1兆分の1グラム</p> <p><リサイクル処理量> 金属類（売却）24t、廃プラスチック（処分）4t、廃家電品（処分）10t</p>					総搬入量		業者持込	直接持込	重量	対前年度	重量	重量	H29	1,533	2.7%	153	1,380	H28	1,492	△1.6%	148	1,344	H27	1,517	13.4%	157	1,360
	総搬入量		業者持込	直接持込																								
	重量	対前年度	重量	重量																								
H29	1,533	2.7%	153	1,380																								
H28	1,492	△1.6%	148	1,344																								
H27	1,517	13.4%	157	1,360																								
主な財源	手数料 諸収入	大宮最終処分場持込ごみ処理手数料 資源ごみ売却代金		4,840千円 467千円																								
成果・課題	<p>○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。</p> <p>○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準内であり、施設の安全稼働ができた。</p> <p>○施設の稼働予定年限である平成43年度末に向けて、埋立残存量（H29.10月：72%終了）を監視しながら、埋立ごみ減量に向けた取組を推進する必要がある。</p>																											
所管課	市民環境部/生活環境課																											

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	06網野最終処分場管理運営事業																								
細事業名	01 網野最終処分場管理運営事業			決算書 P.106																								
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進																										
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																								
53,591千円	54,072千円	481千円	99.1%	55,520千円																								
目的	施設の維持管理及び運営を行い、市内で発生する不燃ごみ、不燃性粗大ごみ、焼却残渣の埋立処理及び浸出水処理を行う。																											
主要な事務・事業の概要	<p>主に網野・丹後・弥栄町内から搬入された不燃ごみの埋立処分を行った。また、再生可能な廃棄物（金属類・廃家電・廃プラスチック類）の分別を行い、市外の再生業者等へ持出処理を行うことにより、埋立ごみの抑制及び再資源化率の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最終処分場運営管理委託料 24,365千円 ○水質検査等委託料（ダイオキシン類を含む） 2,424千円 ○資源ごみ（廃家電・廃プラスチック類）処理委託料 997千円 ○浸出水処理施設整備工事 5,346千円 ○地元対策交付金（徳光区、三津区） 5,000千円 ○その他経費（薬品代・光熱水費等） 15,459千円 <p><網野最終処分場搬入状況> (単位：t)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">総搬入量</th> <th>業者持込</th> <th>直接持込</th> </tr> <tr> <th>重量</th> <th>対前年度</th> <th>重量</th> <th>重量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>2,471</td> <td>106.1%</td> <td>263</td> <td>2,208</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,199</td> <td>△27.2%</td> <td>262</td> <td>937</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,646</td> <td>20.9%</td> <td>269</td> <td>1,377</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">台風災害ごみ (約217t)</p> <p><ダイオキシン類測定結果（平成29年10月12日測定）> 全て基準値（放流水：10pg・TEQ/ℓ、地下水・上流・下流：1pg・TEQ/ℓ） 以下の数値を計測 ※pg（ピコグラム）は、1兆分の1グラム</p> <p><リサイクル処理量> 金属類（売却）45t、廃プラスチック（処分）18t、廃家電品（処分）36t</p>					総搬入量		業者持込	直接持込	重量	対前年度	重量	重量	H29	2,471	106.1%	263	2,208	H28	1,199	△27.2%	262	937	H27	1,646	20.9%	269	1,377
	総搬入量		業者持込	直接持込																								
	重量	対前年度	重量	重量																								
H29	2,471	106.1%	263	2,208																								
H28	1,199	△27.2%	262	937																								
H27	1,646	20.9%	269	1,377																								
主な財源	手数料 諸収入	網野最終処分場持込ごみ処理手数料 資源ごみ売却代金		1,706千円 903千円																								
成果・課題	<p>○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。</p> <p>○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準内であり、施設の安全稼働ができた。</p> <p>○施設の稼働予定年限である平成31年度末に向けて、埋立残存量（H29.10月：88%終了）を監視しながら、埋立ごみ減量に向けた取組を推進する必要がある。</p>																											
所管課	市民環境部/生活環境課																											

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	07久美浜最終処分場管理運営事業
細事業名	01 久美浜最終処分場管理運営事業			決算書 P.106
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
33,415千円	33,529千円	114千円	99.6%	34,384千円

目的 施設の維持管理及び運営を行い、市内で発生する不燃ごみ、不燃性粗大ごみ、焼却残渣の埋立処理及び浸出水処理を行う。

主要な事務・事業の概要
主に久美浜町内から搬入された不燃ごみの埋立処分を行った。また、再生可能な廃棄物（金属類・廃家電・廃プラスチック類）の分別を行い、市外の再生業者等へ持出処理を行うことにより、埋立ごみの抑制及び再資源化率の向上を図った。

- 最終処分場運営管理委託料 21,578千円
- 水質検査等委託料（ダイオキシン類を含む） 1,252千円
- 資源ごみ（廃家電・廃プラスチック類）処理手数料 724千円
- 最終処分場整備工事 1,884千円
- 地元対策交付金（久美浜一区） 1,500千円
- その他経費（薬品代・光熱水費等） 6,477千円

<久美浜最終処分場搬入状況>

(単位:t)

	総搬入量		業者持込	直接持込
	重量	対前年度	重量	重量
H29	606	9.6%	113	493
H28	553	2.2%	112	441
H27	541	△16.3%	124	417

台風災害ごみ
(約36t)

<ダイオキシン類測定結果(平成29年11月16日測定)>

全て基準値(放流水:10pg・TEQ/l、地下水:上流・下流:1pg・TEQ/l)
以下の数値を計測 ※pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラム

<リサイクル処理量>

金属類(売却)39t、廃プラスチック(処分)12t、廃家電品(処分)17t

主な財源	手数料	久美浜最終処分場持込ごみ処理手数料	521千円
	諸収入	資源ごみ売却代金	800千円

成果・課題
○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。
○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準内であり、施設の安全稼働が図れた。
○施設の稼働予定年限である平成37年度末に向けて、埋立残余量(H29.10月:60%終了)を監視しながら、埋立ごみ減量に向けた取組を推進する必要がある。

所管課 市民環境部/生活環境課

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	08有害ごみ処理事業
細事業名	01 有害ごみ処理事業			決算書 P.106
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
3,156千円	3,273千円	117千円	96.4%	6,078千円

目的 市内で発生する有害ごみ(使用済み乾電池、蛍光管等)を適正に処理、再資源化する。

主要な事務・事業の概要
市内で発生する使用済み乾電池及び蛍光管など水銀を含む製品の外部持出処理を行った。

- 需用費 473千円
- 消耗品費 473千円
(貯留用ドラム缶(フタ付き)90本、事務用品(製本用テープ))
- 委託料 2,683千円
- 有害ごみ処理委託料
 - ・廃蛍光管・廃乾電池処理委託料 (65円/kg税別) 2,028千円
 - ・廃蛍光管・廃乾電池運搬委託料 (21円/kg税別) 655千円

<乾電池及び蛍光管の処理状況>

(単位:t)

	総搬入量		乾電池	蛍光管
	重量	対前年度	重量	重量
H29	28.8	△3.7%	17.9	10.9
H28	29.9	△46.1%	18.2	11.7
H27	55.5	51.2%	27.6	27.9

主な財源

成果・課題
有害ごみ(使用済み乾電池、蛍光管等)の処理を専門事業者に委託することで、適正処理及び再資源化を行うことができた。

所管課 市民環境部/生活環境課

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	50塵芥処理一般経費						
細事業名	01 塵芥処理一般経費			決算書 P.106						
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額						
1,188千円	2,340千円	1,152千円	50.7%	5,893千円						
目的	尾坂湧水処理施設等の環境への負荷状況の監視及び最終処分場の新設に向けた検討を進める。									
主要な事務・事業の概要	<p>旧尾坂埋立処分地の湧水処理施設の保守管理並びに旧不燃物処理場周辺地域の井戸水及び排水重金属検査を行った。また、旧丹後半島清掃センターと旧久美浜町清掃センターの汚染負荷量賦課金を支出した。</p> <p>最終処分場の新設に向け最終処分場等建設候補地選定に係る調査委託、建設候補地選定委員会の設置等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旧尾坂埋立処分地等管理経費 845千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(薬品代) 313千円 ・光熱水費(湧水処理施設電気代) 266千円 ・水質検査等委託料(旧尾坂埋立処分地、旧不燃物処理場) 231千円 ・土地借上料(旧尾坂埋立処分地：地権者4人) 35千円 ○最終処分場建設候補地選定経費 294千円 <ul style="list-style-type: none"> ・旅費(最終処分場建設候補地選定委員会に係る事前協議等) 249千円 ・需用費(レンタル車ガソリン代等) 12千円 ・自動車借上料、高速道路通行料等 33千円 ○公課費 49千円 <ul style="list-style-type: none"> ・汚染負荷量賦課金(旧丹後半島清掃センター、旧久美浜町清掃センター) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>1,389千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>85.7%</td> </tr> </table> <p>■平成30年度への繰越事業 951千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終処分場等建設候補地選定業務 平成30年6月完了 				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	1,389千円		実質的な予算執行率	85.7%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	1,389千円								
	実質的な予算執行率	85.7%								
主な財源										
成果・課題	<p>○京丹後市一般廃棄物処理施設建設候補地選定委員会を開催し、処分場建設候補地の検討を行うことができた。</p> <p>○旧尾坂埋立処分地(網野町尾坂)跡、旧不燃物処理場(峰山町矢田)跡の水質等検査は法定義務によるものではないが、周辺地域の生活環境の保全を目的に今後も環境負荷への監視を継続する必要がある。</p>									
所管課	市民環境部/生活環境課									

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	02し尿収集事業
細事業名	01 し尿収集事業			決算書 P.108
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
227,905千円	228,054千円	149千円	99.9%	223,035千円
目的	生活環境保全及び公衆衛生の向上を目的に、竹野川衛生センター、網野衛生センター、久美浜衛生センターの各施設において、し尿収集業務を行う。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○竹野川衛生センター収集運搬事業(委託) 162,405千円 <ul style="list-style-type: none"> ・し尿収集運搬委託料(2者) 155,556千円 ・し尿処理券販売委託料(64か所) 3,234千円 ・その他収集関連経費(郵便代、ハガキ印刷等) 3,615千円 ○網野衛生センター収集運搬事業(直営) 22,836千円 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金及び社会保険料等(5人) 14,784千円 ・し尿収集運搬車維持管理経費(5台) 4,524千円 (消耗品費、燃料費、修繕料、登録手数料、自動車損害保険料等) ・し尿処理券販売委託料(25か所) 2,027千円 ・その他収集関連経費(郵便代、ハガキ印刷等) 1,501千円 ○久美浜衛生センター収集運搬事業(委託) 42,664千円 <ul style="list-style-type: none"> ・し尿収集運搬委託料(1者) 40,967千円 ・し尿処理券販売委託料(24か所) 1,084千円 ・その他収集関連経費(郵便代、ハガキ印刷等) 613千円 			
主な財源	手数料 諸収入	し尿処理手数料 市有自動車損害共済金	128,652千円 15千円	
成果・課題	<p>○受付及び作業時に制度のしくみを案内することにより、計画収集や口座振替を推進し、経費をかけずにし尿収集業務の効率化を図ることができた。</p> <p>○下水道への接続や人口減少等により、し尿収集件数及び収集量が減少する中で、更なる計画収集の普及により、収集運搬の効率化を図る必要がある。</p>			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	03網野衛生センター-管理運営事業
細事業名	01 網野衛生センター-管理運営事業			決算書 P.108
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
102,749千円	116,627千円	13,878千円	88.1%	127,972千円
目的	衛生センター施設を管理運営することで、網野町域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○施設管理 68,131千円 <ul style="list-style-type: none"> ・施設運転管理経費(薬品、A重油、電気代等) 34,391千円 ・施設運転管理委託料(施設管理、受付事務) 29,808千円 ・貯留槽清掃委託料 2,772千円 ・その他施設管理経費 1,160千円 (消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安管理業務委託料等) ○公用車管理及び工事 19,922千円 <ul style="list-style-type: none"> ・公用車維持管理経費(軽トラック1台) 50千円 ・施設設備改修工事費 19,872千円 (浄化槽汚泥投入ポンプ、汚泥供給流量計、生し尿投入ポンプ更新等) ○放流管布設工事(測量委託料、工事請負費) 14,696千円 			
	[し尿及び浄化槽汚泥受入実績]			
	し尿		浄化槽汚泥	
区分	受入件数	受入量	受入件数	受入量
網野町	14,615件	9,687kl	876件	2,692kl
参考	繰越明許費を除いた最終予算額		103,434千円	
	実質的な予算執行率		99.3%	
■平成30年度への繰越事業	13,193千円			
	・網野衛生センター放流管布設工事		平成30年8月完成予定	
主な財源	手数料	し尿処理手数料	38,488千円	
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料	2,253千円	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○し尿及び浄化槽汚泥処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。 ○昭和62年4月に稼動した施設であることから老朽化が進行しており、適切な修繕対応により、施設を維持していく必要がある。 			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	04竹野川衛生センター-管理運営事業
細事業名	01 竹野川衛生センター-管理運営事業			決算書 P.108
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
132,596千円	133,301千円	705千円	99.4%	140,769千円
目的	衛生センター施設を管理運営することで、峰山町、大宮町、丹後町、弥栄町域のし尿及び浄化槽汚泥の適正処理と市内全域の下水道汚泥の焼却処理を行う。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○施設管理 101,001千円 <ul style="list-style-type: none"> ・施設運転管理経費(薬品、A重油、電気代等) 57,693千円 ・施設運転管理委託料(施設管理、受付事務) 36,029千円 ・貯留槽清掃委託料 1,608千円 ・火災保険料 29千円 ・その他施設管理経費 5,642千円 (消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安管理業務委託料等) ○公用車管理及び工事等 31,595千円 <ul style="list-style-type: none"> ・公用車維持管理経費(3tダンプ1台、軽自動車1台) 695千円 (燃料費、修繕料、登録手数料、自動車損害保険料、自動車重量税) ・施設設備改修工事費 29,700千円 (主処理設備、高度処理設備、汚泥処理設備整備等) ・地元対策交付金 1,200千円 			
	[し尿及び浄化槽汚泥受入実績] (単位: 件、kl)		[下水道汚泥受入実績] (単位: t)	
区分	し尿		浄化槽汚泥	
	受入件数	受入量	受入件数	受入量
峰山町	8,727	5,016	792	2,156
大宮町	8,181	4,756	684	1,893
網野町	-	-	96	608
丹後町	4,714	3,131	349	1,040
弥栄町	670	363	127	286
合計	22,292	13,266	2,048	5,983
	施設名		受入量	
	峰山・大宮浄化センター		767	
	橋浄化センター		99	
	丹後浄化センター		106	
	農業集落排水施設(弥栄町)		247	
	久美浜浄化センター		441	
	網野浄化センター		65	
	合計		1,725	
主な財源	手数料	し尿処理手数料	58,085千円	
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料	5,012千円	
	諸収入	下水道汚泥処理料	25,870千円	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○し尿、浄化槽汚泥及び下水道汚泥処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。 ○平成11年4月に稼動した施設であることから老朽化が進行しているため、施設の長寿命化計画を見直すとともに、適切な修繕対応により、施設を維持していく必要がある。 			
所管課	市民環境部/生活環境課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	05久美浜衛生センター管理運営事業																									
細事業名	01 久美浜衛生センター管理運営事業			決算書	P.108																								
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進																											
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																									
70,354千円	70,677千円	323千円	99.5%	74,170千円																									
目的	衛生センター施設を管理運営することで、久美浜町域のし尿及び浄化槽汚泥（網野町域浄化槽汚泥の一部を含む）を適正に処理する。																												
主要な事務・事業の概要	<p>○施設管理 67,183千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設運転管理経費（薬品、電気代、修繕料等） 6,987千円 施設運転管理委託料（施設管理、受付事務） 9,940千円 貯留槽清掃委託料 1,669千円 火災保険料 15千円 下水道使用料 47,711千円 （前処理後、久美浜浄化センターで処理） その他施設管理経費 861千円 （消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安管理業務委託料等） <p>○工事 3,171千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設設備改修工事費 （破碎機、生し尿投入ポンプ、希釈水槽バルブ交換、送水ポンプ交換） <p>[し尿及び浄化槽汚泥受入実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">し尿</th> <th colspan="2">浄化槽汚泥</th> </tr> <tr> <th>受入件数</th> <th>受入量</th> <th>受入件数</th> <th>受入量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久美浜町</td> <td>4,519件</td> <td>3,473kl</td> <td>771件</td> <td>3,478kl</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>72件</td> <td>506kl</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,519件</td> <td>3,473kl</td> <td>843件</td> <td>3,984kl</td> </tr> </tbody> </table>					区分	し尿		浄化槽汚泥		受入件数	受入量	受入件数	受入量	久美浜町	4,519件	3,473kl	771件	3,478kl	網野町	-	-	72件	506kl	合計	4,519件	3,473kl	843件	3,984kl
区分	し尿		浄化槽汚泥																										
	受入件数	受入量	受入件数	受入量																									
久美浜町	4,519件	3,473kl	771件	3,478kl																									
網野町	-	-	72件	506kl																									
合計	4,519件	3,473kl	843件	3,984kl																									
主な財源	手数料	し尿処理手数料	37,925千円																										
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料	3,336千円																										
成果・課題	<p>○し尿及び浄化槽汚泥処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。</p> <p>○平成元年4月に稼動した施設であることから老朽化が進行しているため、施設の長寿命化計画を見直すとともに、適切な修繕対応により、施設を維持していく必要がある。</p>																												
所管課	市民環境部/生活環境課																												

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	01シルバー人材センター運営助成事業																									
細事業名	01 シルバー人材センター運営助成事業			決算書	P.108																								
総合計画	計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり																											
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																									
23,100千円	23,100千円	0千円	100.0%	23,100千円																									
目的	高齢者が長年にわたり培ってきた知識や技能を活かした就業機会の提供とボランティア活動などの社会参加を通じ、健康で生きがいのある生活と福祉の向上を目指す。																												
主要な事務・事業の概要	<p>定年退職者等に地域に密着した仕事を提供し、もって高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図るシルバー人材センター事業を助成した。</p> <p>○シルバー人材センター運営費補助金 21,000千円</p> <p>【事業概要】 労働者派遣事業、福祉・家事援助サービス事業等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度末</th> <th>平成28年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正会員数</td> <td>833人</td> <td>815人</td> </tr> <tr> <td>就業延べ人員</td> <td>79,523人</td> <td>82,919人</td> </tr> <tr> <td>受注件数</td> <td>5,620件</td> <td>5,794件</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td>331,335千円</td> <td>336,759千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○地域就業機会創出・拡大事業補助金 2,000千円</p> <p>生き生き満丹事業：平成28年度～平成30年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>延べ就業人員</th> <th>来客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軽食喫茶「がや我家」</td> <td>713人</td> <td>3,128人</td> </tr> <tr> <td>アンテナショップ</td> <td>3,476人</td> <td>6,453人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○全国シルバー人材センター協会賛助会員会費 50千円</p> <p>○京都府シルバー人材センター連合会賛助会員会費 50千円</p>						平成29年度末	平成28年度末	正会員数	833人	815人	就業延べ人員	79,523人	82,919人	受注件数	5,620件	5,794件	契約金額	331,335千円	336,759千円		延べ就業人員	来客数	軽食喫茶「がや我家」	713人	3,128人	アンテナショップ	3,476人	6,453人
	平成29年度末	平成28年度末																											
正会員数	833人	815人																											
就業延べ人員	79,523人	82,919人																											
受注件数	5,620件	5,794件																											
契約金額	331,335千円	336,759千円																											
	延べ就業人員	来客数																											
軽食喫茶「がや我家」	713人	3,128人																											
アンテナショップ	3,476人	6,453人																											
主な財源																													
成果・課題	<p>○補助金の交付により、高齢者の就業機会の確保、生きがいづくりや社会参加の機会確保につながった。</p> <p>○高齢者の健康維持や福祉の増進だけでなく、生活支援の担い手として活躍していただけるよう、市とシルバー人材センターで引き続き情報共有や連携を進めていく必要がある。</p>																												
所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課																												